



*56Kbps DATA/14.4Kbps FAX*

*Modem PC Card*

**REX-R256**

ユーザーズマニュアル



1998年 1月

第 1.2 版

**RATOC**

ラトックシステム株式会社

# 目次

## ユーザーズマニュアル

はじめに	1
ご注意	1
製品の特徴	1
安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
本文中の記号説明	2
製品に関するお問い合わせ	4
<b>1 . REX-R256 について</b>	<b>1-1</b>
対応パソコン	1-2
対応 OS(オペレーティングシステム)	1-2
添付品について	1-3
添付のソフトウェアについて	1-3
制限	1-4
AT コマンド・S レジスタ・リザルトコードについて	1-5
接続できる通信回線について	1-5
インストールの概要	1-6
<b>2 . Windows 95 でのセットアップ</b>	<b>2-1</b>
セットアップを行う前に	2-1
セットアップを実行する	2-3
セットアップを確認する	2-5
モデムと通信してみましょう	2-8
接続して回線性能を確認する	2-9
セットアップに失敗した場合	2-12
PHS, アナログ携帯電話で使用する	2-13
NIFTY Manager for Windows 95 Ver 4.5 で使用する	2-14
インターネットに接続する	2-15
Microsoft Fax を使用する	2-16
TAPI に対応していない通信ソフトを使用する	2-18
<b>3 . Windows NT 4.0 でセットアップ</b>	<b>3-1</b>
セットアップを行う前に	3-1
セットアップを行う	3-2
セットアップの確認を行う	3-7
接続確認および FAX 機能	3-9

# 目次

---

4	. OS/2 Warp4 でのセットアップ .....	4-1
	セットアップを行う前に.....	4-1
	コンフィグレーションを行う.....	4-2
	コンフィグレーションの確認.....	4-3
	HyperACCESSLite for OS/2 で接続しましょう .....	4-4
	FAX Works for OS/2 で FAX を使う.....	4-5
5	. Mac OS 8 でのセットアップ .....	5-1
	CCL セットアップを行う .....	5-1
	REX-R256 を認識させる .....	5-1
	簡単インターネット接続を行う.....	5-2
6	. Mac OS 7.6.x 7.5.x でのセットアップ .....	6-1
	セットアップを行う前に.....	6-1
	REX-R256 を認識させる .....	6-1
	CCL セットアップを行う .....	6-1
	アップルリモートアクセスの設定.....	6-2
7	. AT コマンド (抜粋) .....	7-1
8	. 仕様について .....	8-1
	REX-R256 Modem 側インターフェース仕様 .....	8-1
	REX-R256 端末側インターフェース仕様.....	8-1
	REX-R256 環境仕様 .....	8-2
9	. トラブルシューティング .....	9-1
	REX-R256 と認識されず K56FLEX_DATA/FAX.. と表示の場合.....	9-1
	標準の PCMCIA カードモデムをインストールした場合.....	9-2
	発信音等が聞こえない場合.....	9-2
	デスクトップにモデムのアイコンが表示されない場合.....	9-2
	56000bps で接続できない場合 .....	9-2
	Mac OS にて PHS、アナログ携帯電話で接続できない場合 .....	9-3

## はじめに

このたびは REX-R256 56Kbps DATA / 14.4Kbps Fax Modem PC Card をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。今後も Flash ROM、ドライバのバージョンアップなど、より一層のサポートを充実していきますので末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

本書は、REX-R256の導入ならびに運用方法を説明したマニュアルです。REX-R256を正しくお使い頂くため、ご使用前に必ず本書をよくお読みください。

また、添付ディスクに入っている「README.TXTファイル」、「はじめにお読みください」ファイルには本マニュアルに記載できなかった最新情報がありますので合わせてご覧ください。

## ご注意

- ・ 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の内容につきましては万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤りなどにお気づきになりましたらご連絡願います。
- ・ 運用の結果につきましては、責任を負いかねますので、予めご了承願います。
- ・ 本製品の保証や修理に関しては、添付の保証書に記載されております。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。
- ・ K56flex はLucent TechnologiesとRockwell International の商標です。
- ・ MS-DOS、Windows、Windows NT は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ OS/2 Warpは、IBM Corporationの登録商標です。
- ・ Mac OS、Macintoshは米国アップルコンピュータ社の商標です。
- ・ 本製品および本製品添付のマニュアルに記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。



## 製品の特徴

- ・ K56flex に準拠しています。56Kbps (理論値) に対応しており、インターネットも快適にお使い頂けます。
- ・ Hayes 標準 AT コマンドに準拠した制御コマンド、MNP5 ITU-T V.42bis に準拠したデータ圧縮機能、MNP2-4,10 ITU-T V.42 に準拠したエラー訂正機能を搭載しています。
- ・ PHS、アナログ携帯電話でデータ通信 (みなし音声) が可能です。  
(通信速度 300 ~ 14400bps) 接続ケーブルは標準添付されています。

### 安全にお使いいただくために必ずお読みください

このユーザーズマニュアルには、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止し、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項が示されています。表記と記号の意味は次のようになっています。内容を理解してからお読みください。

#### 本文中の記号説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いを行うと人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いを行うと人が負傷を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。
ご注意	この表示は、本製品を取り扱う上での注意事項を示しています。



 分解禁止：発火のおそれがあります

PC カードの分解や改造等は絶対に行わないでください。また、無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重いものをのせることは行わないでください。



煙が出たり、変な臭いがする場合は、ただちにパソコンや周辺機器の電源を切り、電源ケーブル等もコンセントから抜いてください。  
必ず、販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。



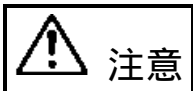
PC カードが濡れた場合、ショートによる火災や感電のおそれがあるため使用しないでください。  
必ず、販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。



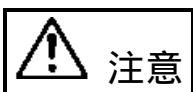
PC カードは電子機器ですので静電気を与えないようにしてください。  
故障するおそれがあります。



ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは高周波の信号により、ノイズを与え誤動作することがあります。



モータなどノイズを発生する機器の近くでは誤動作することがありますので、必ず離してご使用ください。



本製品（ソフトウェアを含む）は、日本国内仕様です。日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。



本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送設備など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生しても弊社ではいかなる責任も負いかねます。



保管に関するご注意：

本製品を保管する場合、故障の原因となりますので次のような場所での保管は避けてください。

- ◆ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所、暖房器具等の近く、温度差の激しい場所
- ◆ チリやほこり、湿気の多い場所
- ◆ 振動や衝撃の加わる場所

**製品に関するお問い合わせ**

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

ラトックシステム株式会社  
サポートセンター  
〒556-0012  
大阪市浪速区敷津東 1-6-14 朝日なんばビル  
TEL 06-633-6766  
月～金 10:00～17:00 土曜、日曜および祝日を除く  
FAXでの受付は24時間行っております。  
FAX 06-633-3553

インターネットのホームページでも最新の情報をお届けしております。

ラトックシステムのホームページ  
<http://www.rexpccard.co.jp>

また、NIFTY Serve の以下のフォーラムでも受け付けております。

PC Vendor Station E  
(SPCVE)  
電子会議室 8 番「ユーザサポート」

お問い合わせの際には、最後のページの「質問用紙」に必要事項を記入の上、上記 FAX 番号までお送りください。折り返し弊社より電話または FAX にて回答いたします。ご質問に対する回答は上記営業時間内の処理となりますのでご了承ください。また、ご質問の内容によりましてはテスト・チェック等の関係上、時間がかかる場合もございますので予めご了承ください。

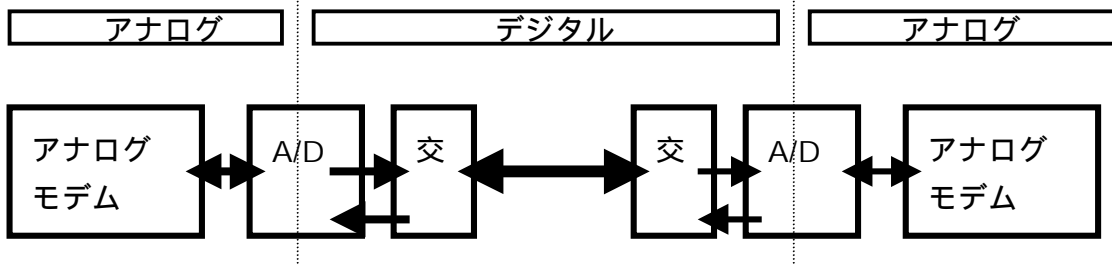
## 1. REX-R256 について

REX-R256はPC Card Standardに準拠したPCカード型データ/ファックスモデムです。このカードは一般公衆回線に接続することにより、データのダウンロード時56000bps、データのアップロード時33600bps、FAXモード時14400bpsでの通信が可能です。

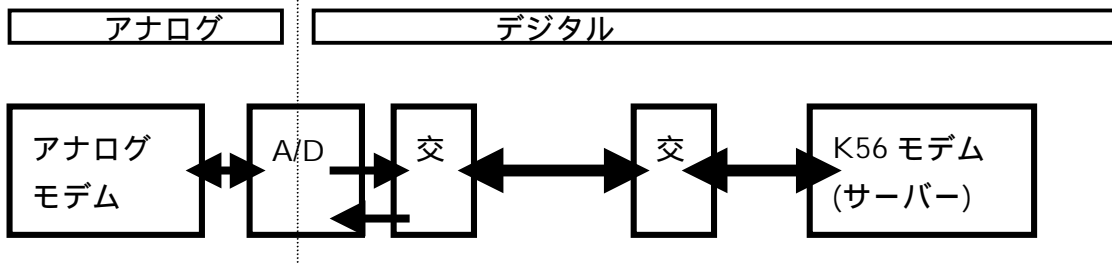
K56flexについて：

K56flexは米国Rockwell社等が提唱する通信規格で、アナログデータ回線でプロバイダ等からユーザ側への方向のみ、従来の通信規格V.34による通信速度33.6Kbpsを超える速度で通信しようという規格です。

従来モデム



K56モデム





### 対応パソコン

本製品は、PCカードスロットを搭載した以下の種類のパソコンに対応しています。

以下のパソコンが動作確認されています。

- ・ PC/AT 互換機
- ・ NEC PC98-NXシリーズ
- ・ NEC PC-9800,9821シリーズ
- ・ EPSON PC-486/586 Noteシリーズ
- ・ Macintosh PowerBook 2400,3400,5300,1400, G3

ただし、一部の機種では制限があったり正常に動作しない場合もありますので、メーカー名および機種型番の詳細については弊社サポートセンターに直接ご確認ください。

### 対応 OS(オペレーティングシステム)

本製品は以下のOSに対応しています。

- ・ Windows 95,95a ,95B(OSR2)
- ・ Windows NT 4.0
- ・ OS/2 warp4
- ・ Mac OS J 8 , 7.6.x , 7.5.x

## 添付品について

REX-R256にはModem PCカード以外に以下のものが添付しています。不足の場合には、弊社サポートセンターまたは販売店にご連絡ください。

モジュラーケーブル	1
セルラーケーブル	1
中継カプラ	1
Windows 95/NT 用モデム情報ファイル (FD)	1
Macintosh 用 ARA / PPP CCL ファイル (FD)	1
ユーザズマニュアル	1
ご愛用者登録ハガキ / 保証書(注 1)	1

(注1) ご愛用者登録ハガキは保証書を切り離した後、必要事項を記入の上必ずご返送ください。ご返送頂けない場合、バージョンアップ等のサポートサービスは受けられませんのでご注意ください。

## 添付のソフトウェアについて

本製品に添付のフロッピーディスク (Windows 95/NT用モデム情報ファイル) には次のファイルが含まれます。

- MDMR256.INF
- README.TXT

MDMR256.INFは、Windows 95およびWindows NTでのセットアップで使用します。

本製品に添付のフロッピーディスク (Macintosh用 ARA / PPP CCLファイル) には次のファイルが含まれます。

- REX-R256 (CCL ファイル)
- はじめにお読みください

REX-R256は、機能拡張フォルダのModem Scriptsフォルダにコピーします。

README.TXTファイル、はじめにお読みくださいファイルにはマニュアルに記載できなかった最新情報がありますので必ずご覧ください。

### 制限

- 本製品は、日本国内向けに開発されているため、海外での使用はサポートされていません。
- Class 2 のみ対応の FAX ソフトウェアは使用できません。
- 発信音、ネゴシエーション音の音量設定を変更しても音量はほとんど変化しません。
- 第二電電株式会社(DDI)製 DDI アダプタへ REX-R256 を接続することはできません。万一、接続した場合 REX-R256 が故障する可能性があります。
- パワーマネージメントの設定を有効にした場合、PC カードスロットへの電源供給が止められると動作を停止します。  
また、パワーセーブモードに入ると転送速度に影響を及ぼします。
- Windows 95 の DOS モードは原則としてサポートしておりません。
- PC カードスロットが 1 スロットのみで、フロッピーディスクドライブが PC カード接続のパソコンでは、直接フロッピーディスクからのドライバのインストールは行えません。この場合、あらかじめ本製品添付の MDMR256.INF ファイルをパソコン本体内部蔵のハードディスクへコピーしたあとで、REX-R256 のセットアップを行ってください。
- Windows NT において本製品は、インテルプラットフォームのみの対応となります。その他のプラットフォームでは、動作しません。  
また、Windows NT3.51 を含む以前のバージョンは、サポートしておりません。
- Windows NT では、PC カードに対するプラグアンドプレイはサポートされていません。したがって Windows NT 起動時には、PC カードスロットに REX-R256 を装着しておく必要があります。
- REX-R256 が使用するためのシステム資源 (IRQ, I/O ポート) が空いている必要があります。
- MacOS 7.6 以前の Macintosh でインターネット接続する場合 OpenTransport PPP を使用するか、ppp プロトコルソフトウェアを別途ご用意ください。
- 構内交換機 (PBX)、LCR アダプタの種類によってご使用になれないことがあります。
- 環境 (品質、状況) によっては、DCE 速度が 56Kbps でダウンロードできない事があります。
- 「K56flex」方式でない「x2」方式の通信相手には、33.6Kbps 以上の速度で接続できません。
- 「K56flex」方式のモデム同士の接続では、33.6Kbps 以上の速度で接続できません。

### AT コマンド・S レジスタ・リザルトコードについて

AT コマンドは米国 Hayes 社が開発したモデム制御コマンドです。  
REX-R256 への制御は、この AT コマンドによって行います。

このマニュアルでは、AT コマンド・S レジスタ・リザルトコードを記載しておりません。これは通常に使用する場合、特に意識する必要がないためです。

一部必要の可能性がある AT コマンドを7章に載せてあります。

もし、必要な場合 AT コマンド・S レジスタ・リザルトコード一覧表をマニュアルの形式で PDF ファイルにして用意しておりますので、弊社ホームページよりダウンロードして参照願います。

### 接続できる通信回線について

REX-R256 が使用できる通信回線は次のようになります。

- アナログ一般公衆回線                                接続可能
- アナログ携帯電話                                添付のセルラーケーブルで接続可能
- PHS    添付のセルラーケーブルで接続可能
- デジタル携帯電話                                使用できません
- ビジネスホン    ビジネスホン付属のアダプタが必要です
- ISDN    使用できません
- ISDN アナログポート                                接続可能

### インストールの概要

インストールは以下のように進めます。

1. セットアップを行う前の確認

ご使用のパソコンに、REX-R256 が使用できる環境になってるかチェックします。

2. セットアップの実行

REX-R256 の装着、およびドライバファイルのコピー等を行います。

OS の種類によって手順が異なりますので、本マニュアルにしたがって作業してください。

3. セットアップの確認

システムリソースが正しく割り当てられたかを、チェックします。

パソコン本体から、REX-R256 が認識されたかのチェックになります。

4. モデムと通信してみる

パソコンとモデムがつながったかどうかの確認をします。

パソコンからモデムに対して AT コマンドを送出します。

5. 回線に接続してみる

モデムから実際にダイヤルしてみます。発信できれば問題ありません。

ここまで、実行できれば REX-R256 に問題はありません。

6. 通信ソフトウェアから使用する

通信ソフトウェアから、REX-R256 を選択してください。

以降の章では、各 OS 別に説明していきます。

### 2. Windows 95 でのセットアップ

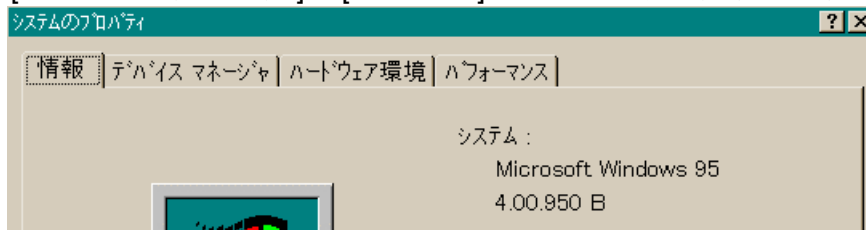
ここでは、Windows 95上でREX-R256を使用する場合の手順を示します。

一度パソコンが認識を行うと、以降はPCカードを挿すだけですぐに使用できます。

#### セットアップを行う前に

Windows 95 をチェックします。まず Windows 95 のバージョンをチェックします。

1. [コントロールパネル]の[システム]アイコンをダブルクリックします。



[4.00.950B]となっている場合の例を中心に説明していきます。

[4.00.950]または[4.00.950a]となっている場合、画面が一部異なります。

2. [デバイスマネージャ]のタグを選択します。



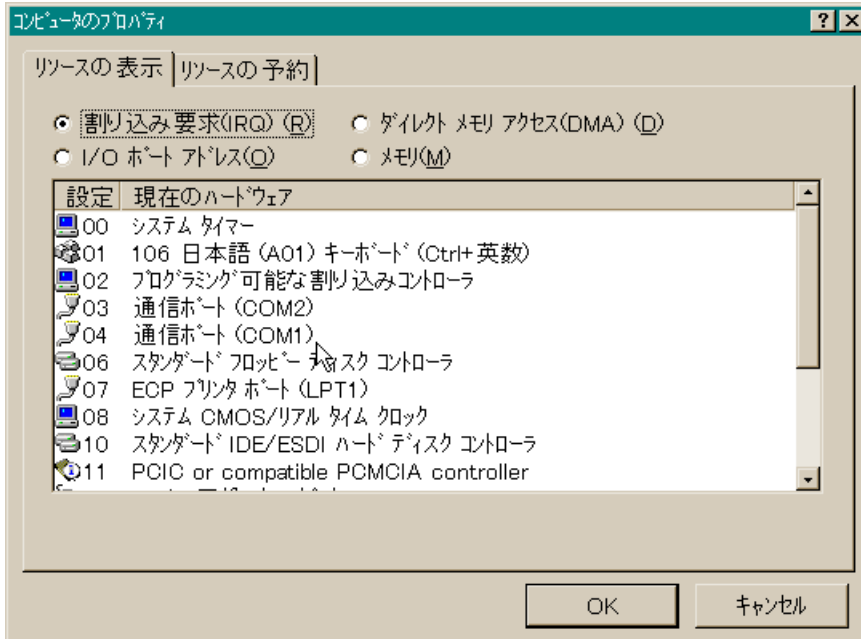
PCMCIA ソケットが、正しくインストールされていることを確認してください。

！マークまたは？マークがついている場合、PC カードを使用できません。

PC カードを装着している状態では、その他のデバイスに？マークが表示されます。

これで、正常です。削除しないでください。

### 3. [コンピュータ]をダブルクリックします。



00～15まで使用可能です。空いている番号があることを確認してください。

この例では、05、09が空いています。

REX-R256は、空いている番号に割り当たります。空いている番号がなければ、使用できません。必ず番号を空ける必要があります。

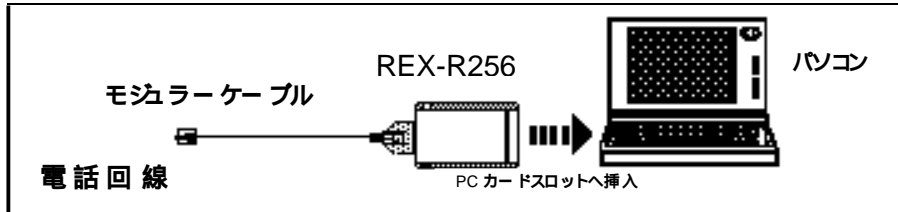
この場合、03 通信ポート (COM2) または 04 通信ポート (COM1) を使用しないようにすることをお勧めします。

デバイスマネージャから削除キーを押しただけでは、空きません。

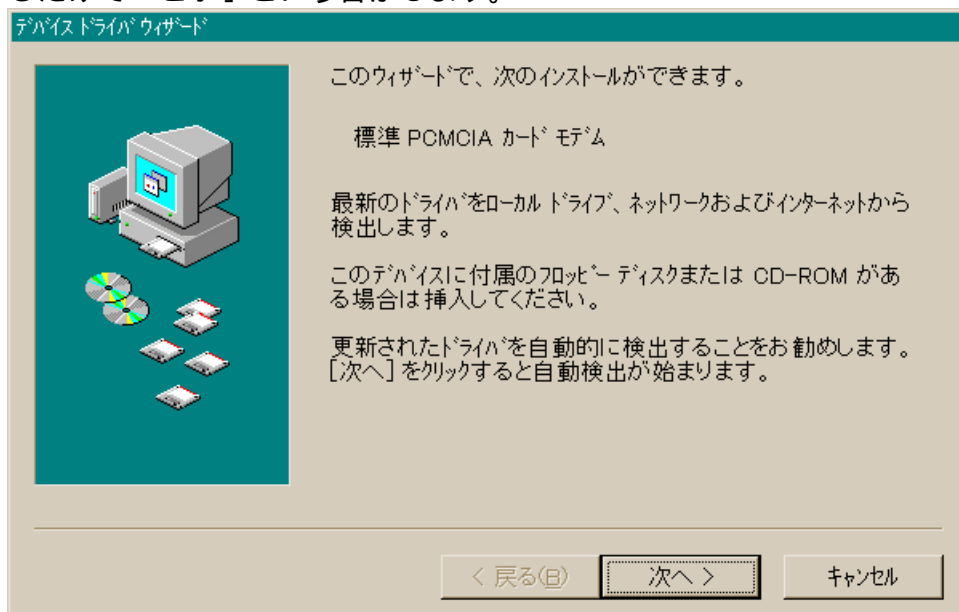
システム BIOS の設定で、COM1、COM2 を切り離す必要があります。お手持ちのパソコンのマニュアルをお読みください。

### セットアップを実行する

1. デバイスマネージャの画面を閉じて、REX-R256 をパソコンに装着します。  
このとき、電話回線につながっている必要はありません。発信時までには接続してください。装着は以下のように行います。



2. 装着すると、次の画面が表示されます。（[4.00.950B]の場合）  
[4.00.950]または[4.00.950a]の場合、「新しいハードウェア」の場面になります。「ハードウェアの製造元が提供するドライバ」を選択してください。  
あとは、フロッピーディスクからのインストールで、フロッピードライブを指定するだけで「ピポ」という音がします。



「標準の PCMCIA カードモデム」と表示されますが、この名前でインストールを完了しないでください。添付の Windows 95/NT 用モデム情報ファイルのディスクをフロッピーディスク装置にセットしてください。

フロッピーディスク装置を使用できない場合は、あらかじめハードディスクのワークディレクトリに、Windows 95/NT 用モデム情報ファイルをコピーしておく必要があります。

REX-R256 はシリアルデバイスのドライバを利用します。よって以降のインストール中にシリアルポートのデバイス（マウス等）は停止します。システム再起動によって動作を再開しますので、インストール完了後、システム再起動してください。



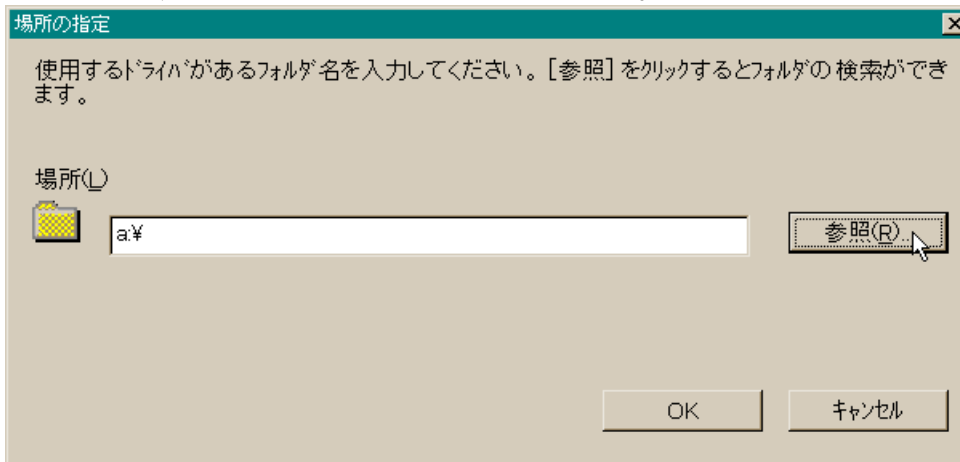
## 第2章 Windows 95 でのセットアップ

3. 「次へ」を押すと、次の画面になります。



このように REX-R256 のドライバが見つかりました。と表示されるまで「完了」のボタンを押さないでください。

4. 見つからない場合、またはあらかじめ Windows 95/NT 用モデム情報ファイルをコピーした場合、「場所の指定」を押してください。

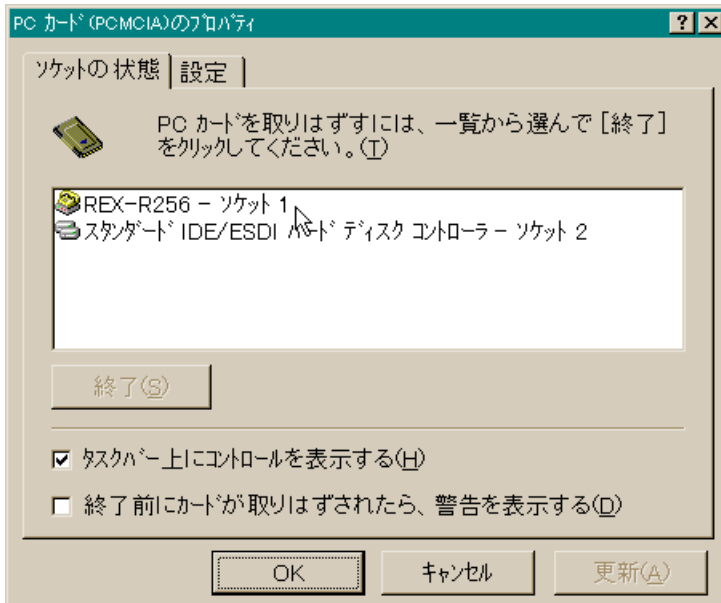


Windows 95/NT 用モデム情報ファイルのあるところを指定します。  
前画面の様に表示されるまで、探してください。

5. 「完了」を押すと「ピポ」と音がして REX-R256 はシステムより認識されます。

セットアップを確認する

1. コントロールパネルの PC カードのプロパティを開きます。



ソケット 1 のように表示されることを確認します。  
 この例では、スロット 2 にハードディスクカードが装着されています。  
 違う名前が表示される場合、トラブルシューティングを参照してください。

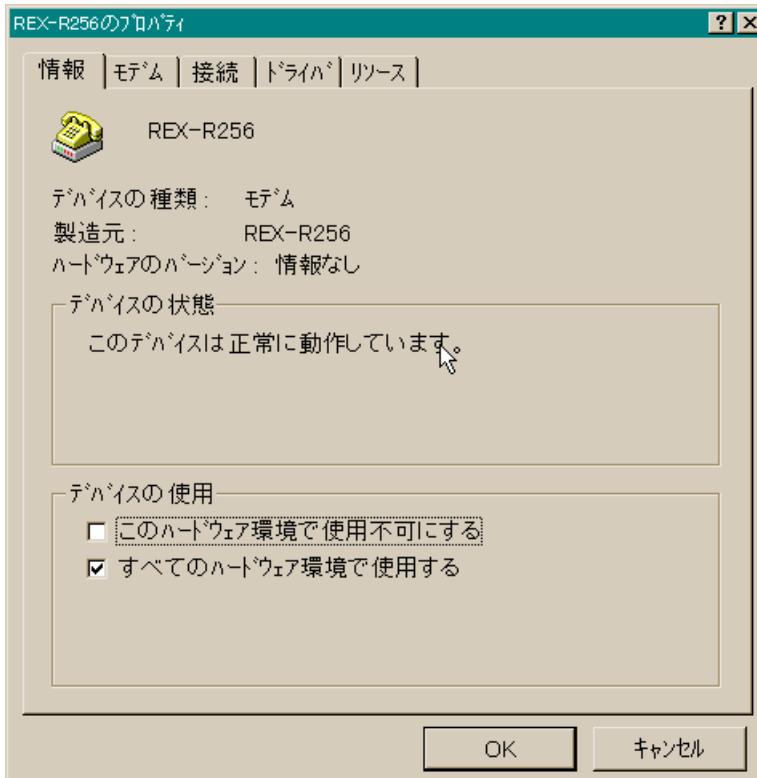
2. コントロールパネルの「システム」を開きます。



「モデム」をダブルクリックします。

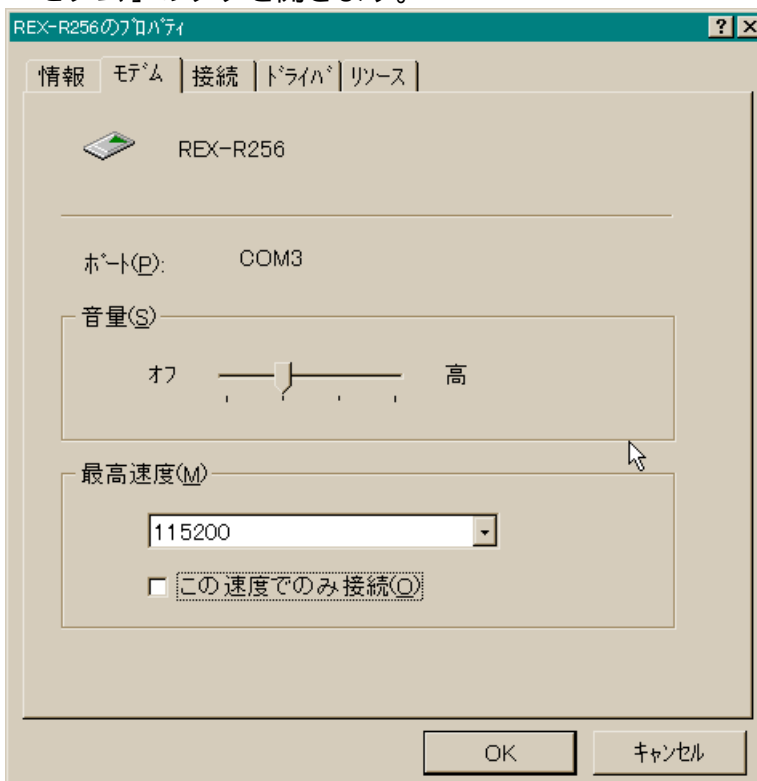
## 第2章 Windows 95 でのセットアップ

3. 「REX-R256」をダブルクリックします。



「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることを確認します。

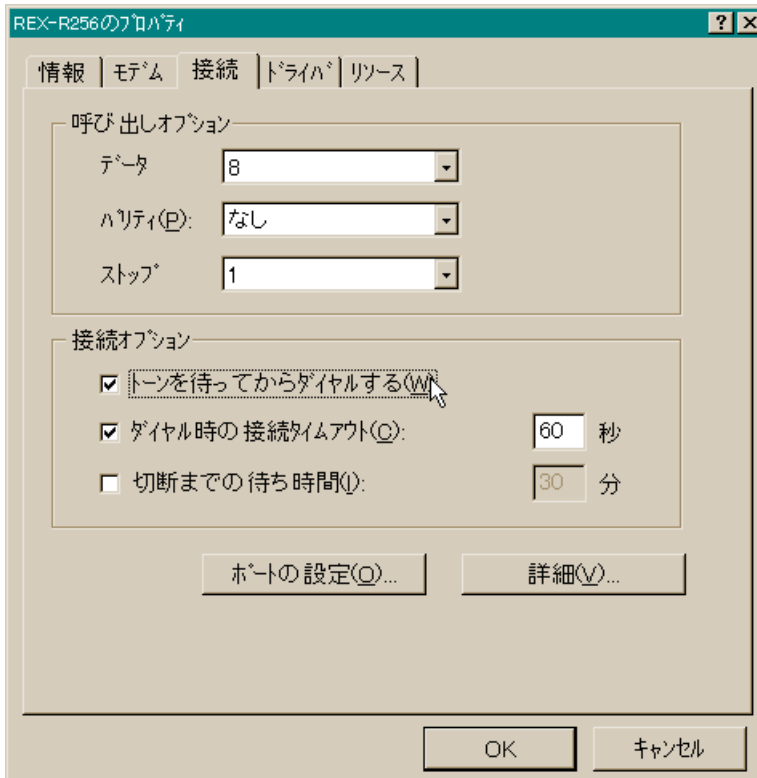
4. 「モデム」のタブを開きます。



使用しているポートを確認します。

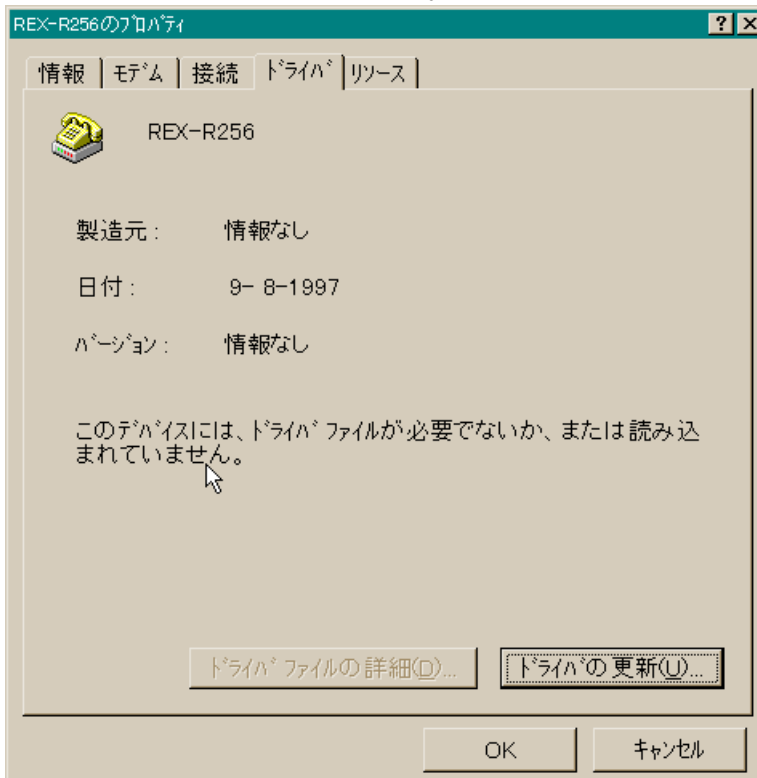
可能な場合、最高速度を 115200 に変更します。

5. 「接続」のタブを開きます。



構内回線を使用している場合は、「トーンを待ってからダイヤルする」のチェックを外してください。

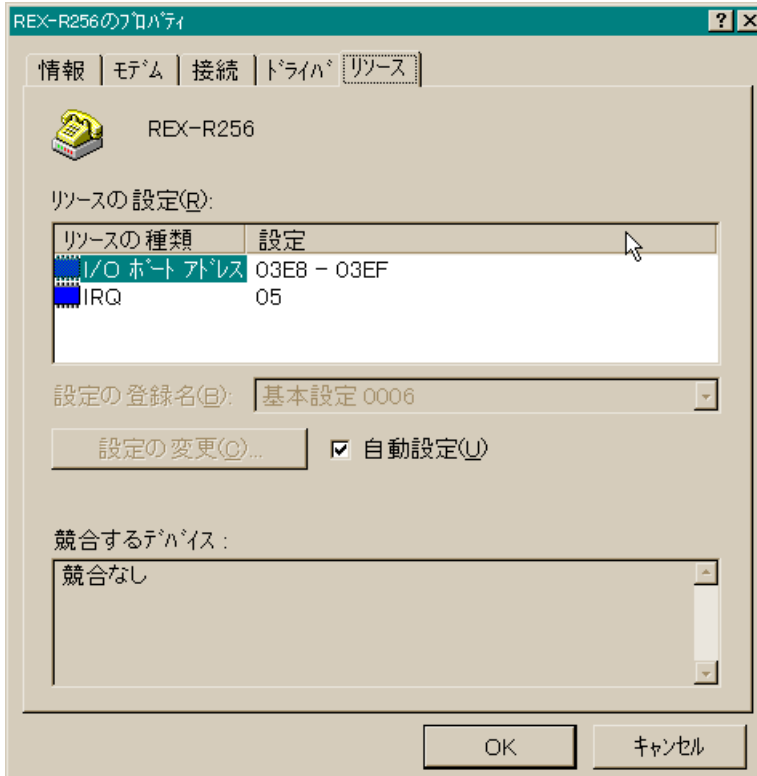
6. 「ドライバ」のタブを開きます。



「ドライバが読み込めていません」と表示されますが、問題ありません。

## 第 2 章 Windows 95 でのセットアップ

### 7. 「リソース」のタブを開きます。



I/O ポートアドレスと IRQ が確保されていれば、問題ありません。

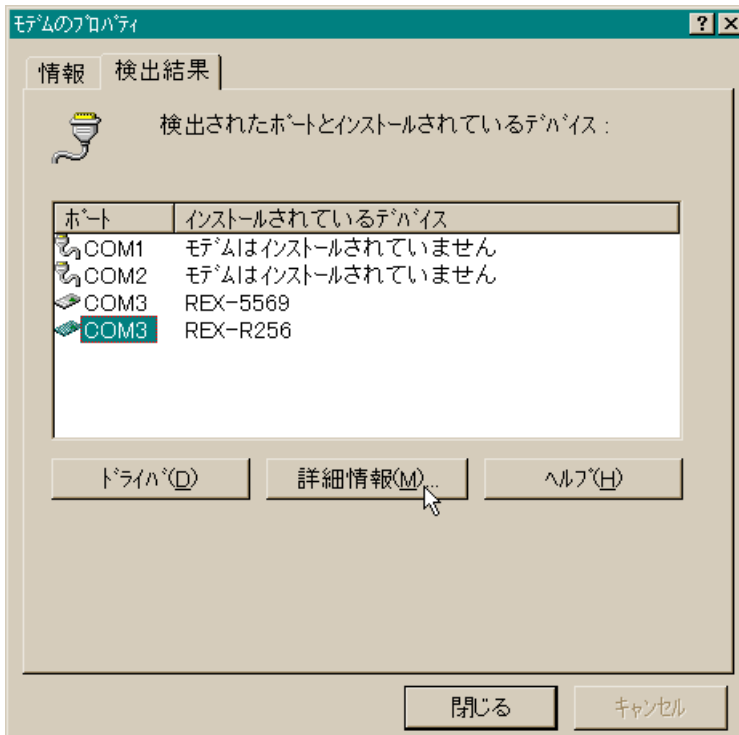
「競合なし」と表示されていることを確認してください。

以上でカードのセットアップは終了です。パソコンに REX-R256 は認識されました。

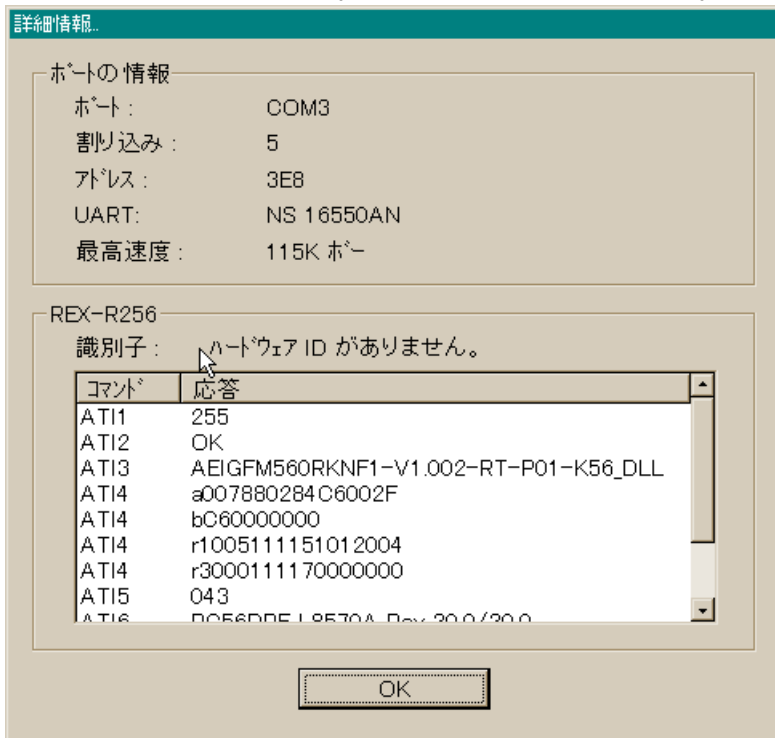
## モデムと通信してみよう

パソコンと REX-R256 が通信できるか確認します。

### 1. コントロールパネルの「モデム」アイコンを選択し「検出結果」を選択します。



2. REX-R256 と表示されているポートを選択し、詳細情報を選択します。モデムと通信しています。しばらくお待ちください。と表示されます。



このように表示されることを確認してください。  
表示されるまで、しばらく時間のかかる場合があります。  
「ハードウェア ID がありません」と表示されますが、異常ではありません。  
ポート、割り込み、アドレス、最高速度は環境により異なります。  
これで、パソコンと REX-R256 との通信確認ができました。

### 接続して回線性能を確認する

続いて、REX-R256 と回線の接続テストを行います。

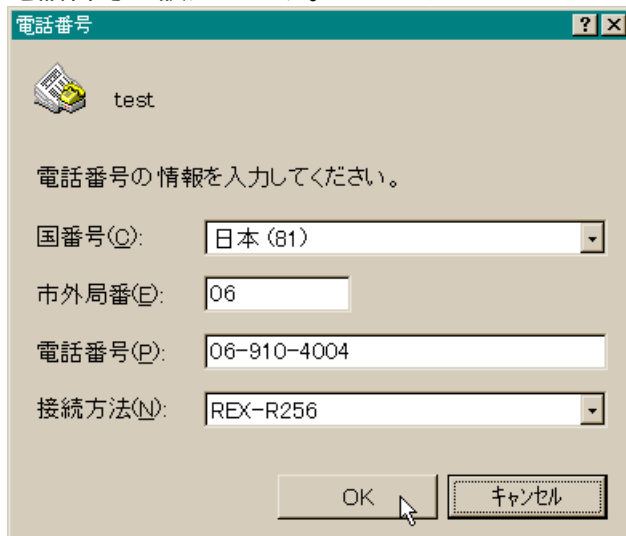
1. モジュラージャックにモジュラーケーブルを装着します。
2. ハイパーターミナルを起動します。[スタート] [プログラム] [アクセサリ] [ハイパーターミナル]です。登録されていない場合は、Windows のセットアップで追加インストールしてください。



## 第 2 章 Windows 95 でのセットアップ

---

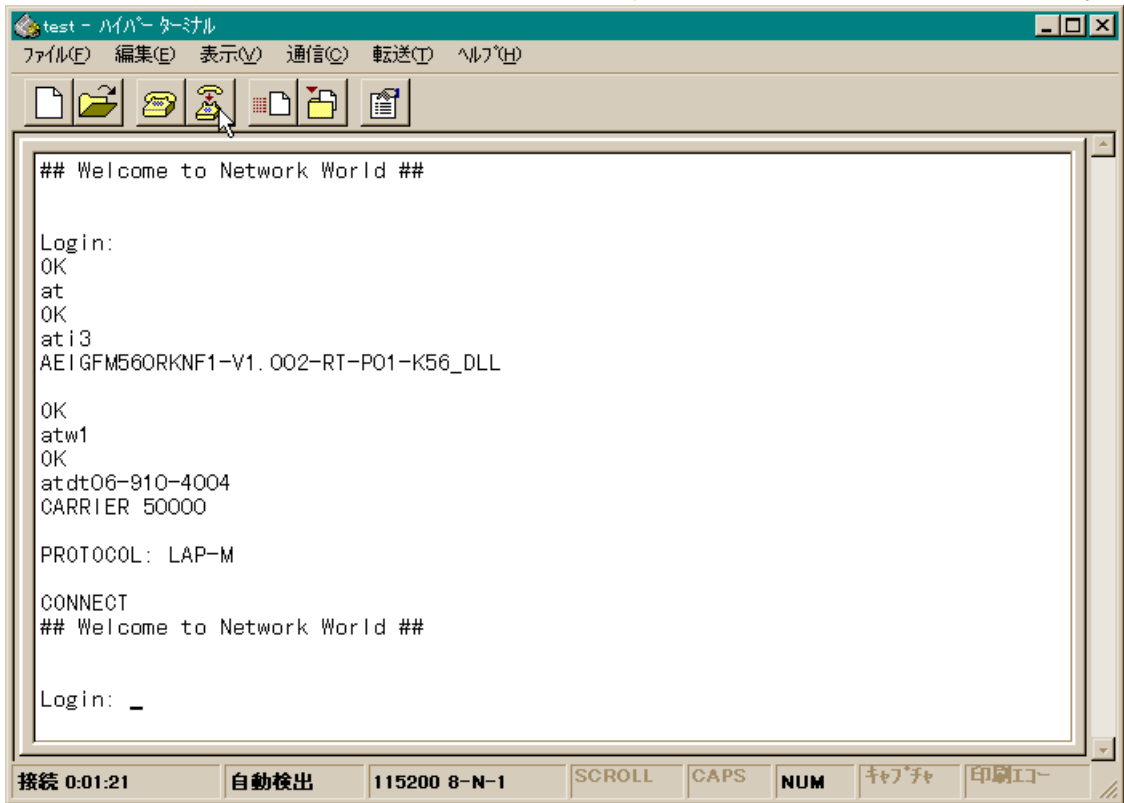
3. 接続の設定を行います。
4. 電話番号を設定します。56K アクセスポイントの TEL 番号を作成します



接続方法に REX-R256 を選択してください。  
お近くの K56flex 規格の TEL 番号を入力してください。  
この例では、大阪の NIFTY-Serve 56K に接続しています。

5. 接続画面が表示されます。  
ダイヤルのプロパティを確認してください。 外線発信で、0, 等が必要な場合指定してください。  
ダイヤルボタンを押すとダイヤルを開始します。  
切断するには、切断ボタンを押します。

6. 接続すると Login: となります。切断ボタンを押して「at」と入力します。  
次の画面のように「atw1」コマンドを入力して、atdt コマンドでダイヤルします。



The screenshot shows a HyperTerminal window titled "test - ハイパーターミナル". The menu bar includes "ファイル(F)", "編集(E)", "表示(V)", "通信(C)", "転送(T)", and "ヘルプ(H)". The toolbar contains icons for file operations and communication. The main text area displays the following text:

```
## Welcome to Network World ##

Login:
OK
at
OK
ati3
AEIGFM560RKNF1-V1.002-RT-P01-K56_DLL

OK
atw1
OK
atdt06-910-4004
CARRIER 50000

PROTOCOL: LAP-M

CONNECT
## Welcome to Network World ##

Login: _
```

The status bar at the bottom shows "接続 0:01:21", "自動検出", "115200 8-N-1", "SCROLL", "CAPS", "NUM", "キャプチャ", and "印刷コマンド".

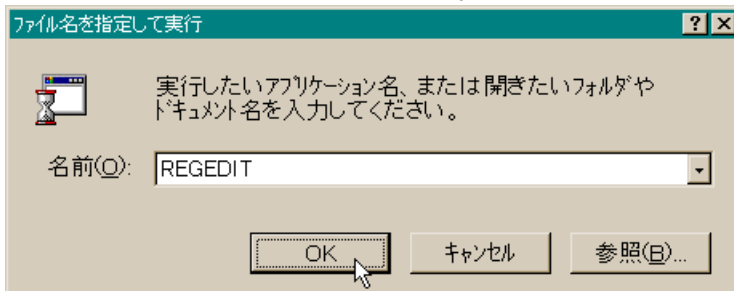
接続したモジュージャックから、どれだけの転送速度が期待できるか調査します。  
なおこれは時間帯によっても変わります  
この例では、50000bps で接続されました。56000bps になるには、環境がよくない  
と接続されません。1998 年現在の平均値は 44000-46000bps 程度です。



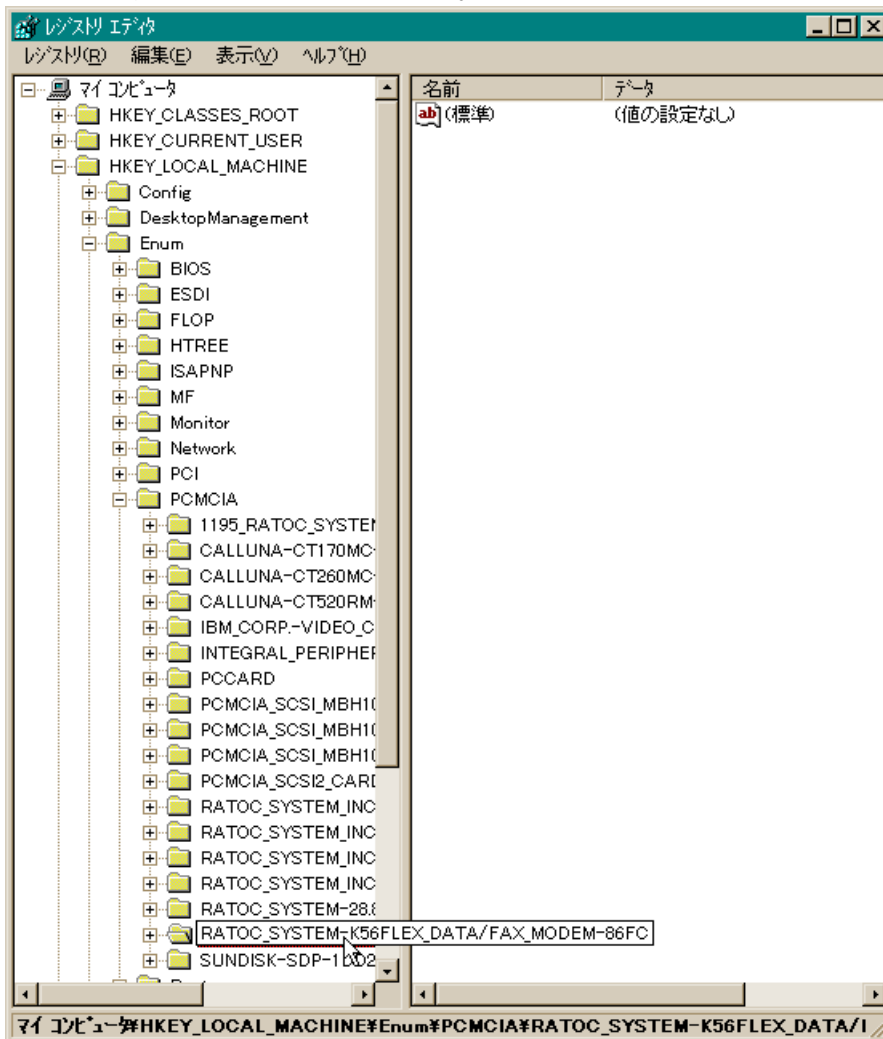
### セットアップに失敗した場合

インストールに失敗し、再度デバイスウィザードを表示させ、Windows 用情報ファイルを読み込ませる方法を示します。

1. 誤って「標準 PCMCIA カードモデム」をインストールした場合、「デバイスマネージャ」から、標準 PCMCIA カードモデムを見つけ、削除キーを押します。
2. レジストリエディタを起動します。



3. 以下のようにツリーを表示します。



RATOC\_SYSTEM-K56FLEX\_DATA/FAX\_MODEM を選択し、削除キーを押します。存在しない場合は、ほとんどセットアップされていません。システム再起動して REX-R256 を挿入してください。

デバイスウィザードの画面が表示されます。

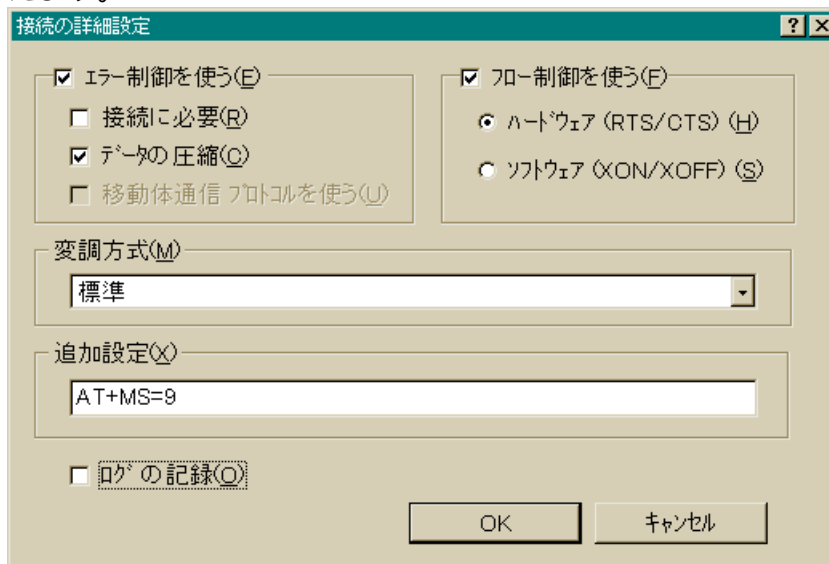
PHS, アナログ携帯電話で使用する

ここでは、PHS, アナログ携帯電話で使用方法を示します。接続ケーブルは、添付のセルラーケーブルを使用します。端子をイヤホン・マイク端子に接続してください。機種によっては手動で、ダイヤルする必要があります。手動呼び出しの設定が必要になります。 デジタル携帯電話は、使用できません。

以下のモデムのプロパティ画面で、最高速度 (DTE) を下げます。



19200 程度まで下げます。また相手とのネゴシエーション速度を低い速度での設定に変えます。



+MS=9 は 9600bps で接続します。

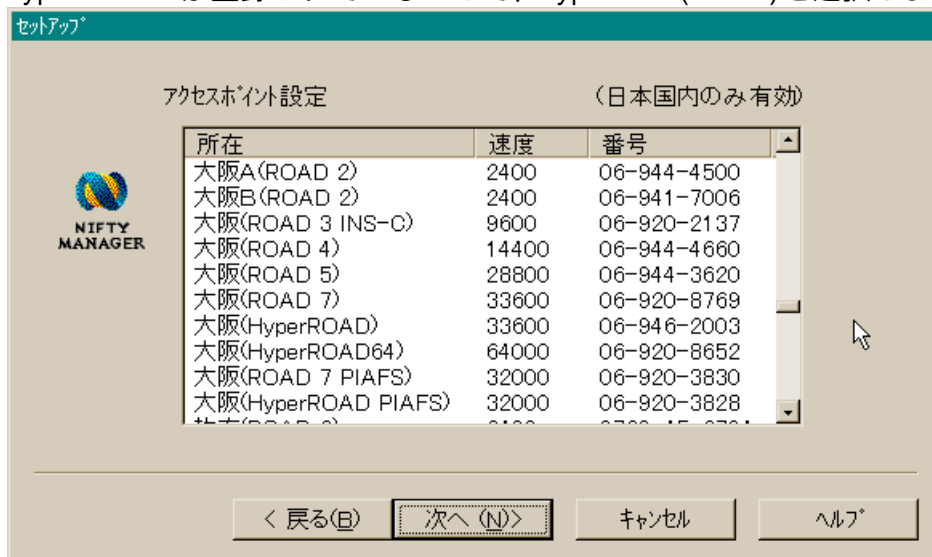
+MS=10 は 14400bps で接続します。

これらの設定は、通信場所等、環境に影響します。比較的安定した状態を確認して設定してください。

### NIFTY Manager for Windows 95 Ver 4.5 で使用する

ここでは、REX-R256 に関係するところのみ説明します。

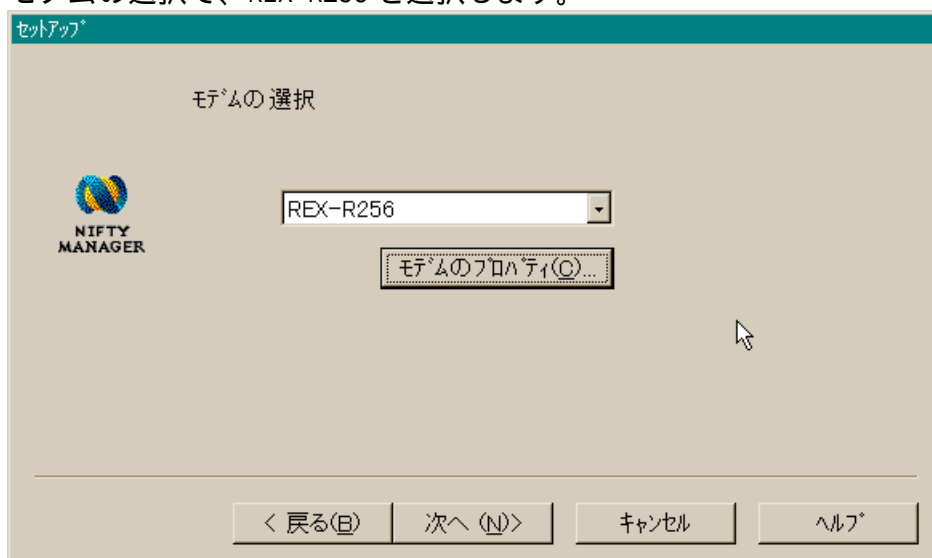
1. HyperROAD56 が登録されていないので、HyperROAD(33600)を選択します。



HyperROAD64 は ISDN 回線ですので、選択できません。

電話番号は、後から変更してください。

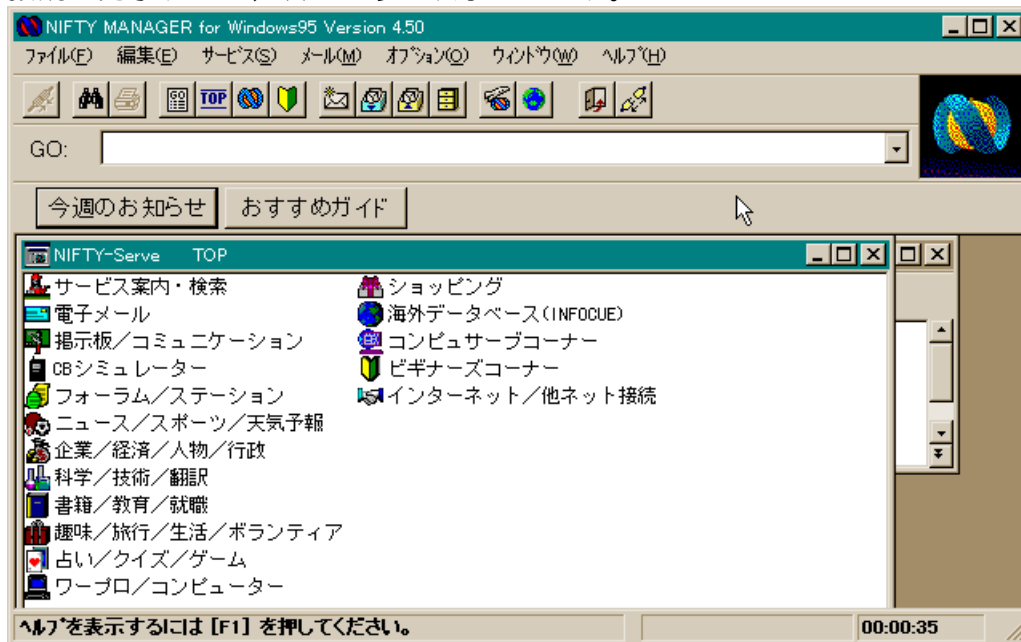
2. モデムの選択で、REX-R256 を選択します。



3. ダイアルアップネットワークの設定において REX-R256 を選択します。

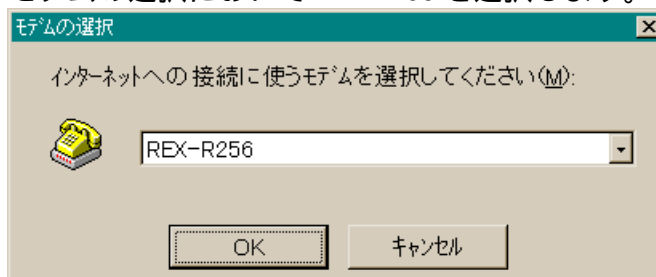


4. 接続が完了すると、次のように表示されます。



### インターネットに接続する

1. デスクトップ上にあるインターネットアイコンを起動します。
2. モデムの選択において REX-R256 を選択します。

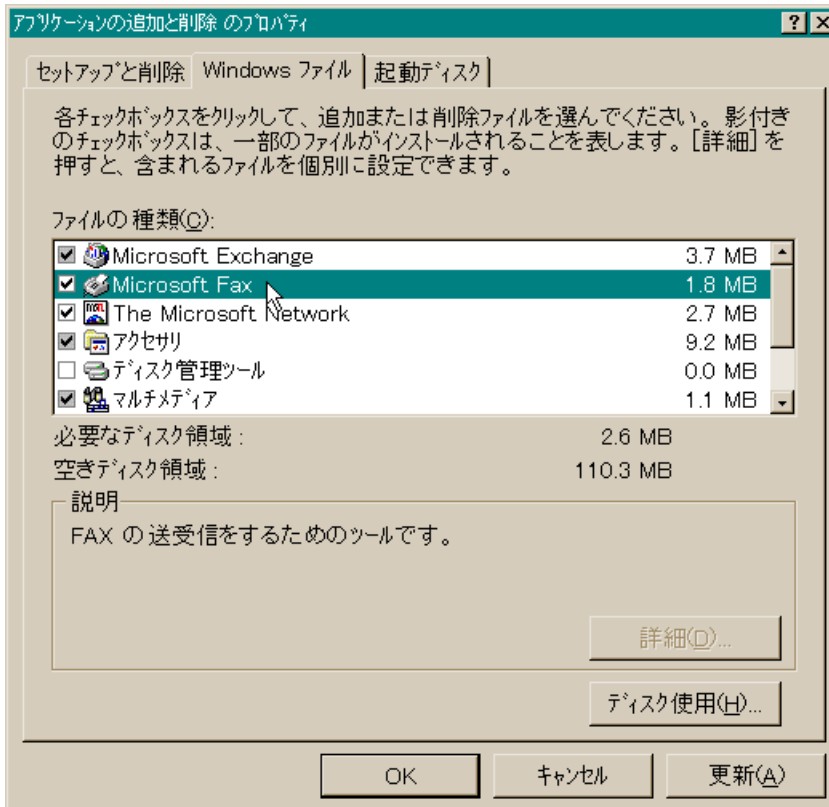


以降、HELP ファイルを参照してください。

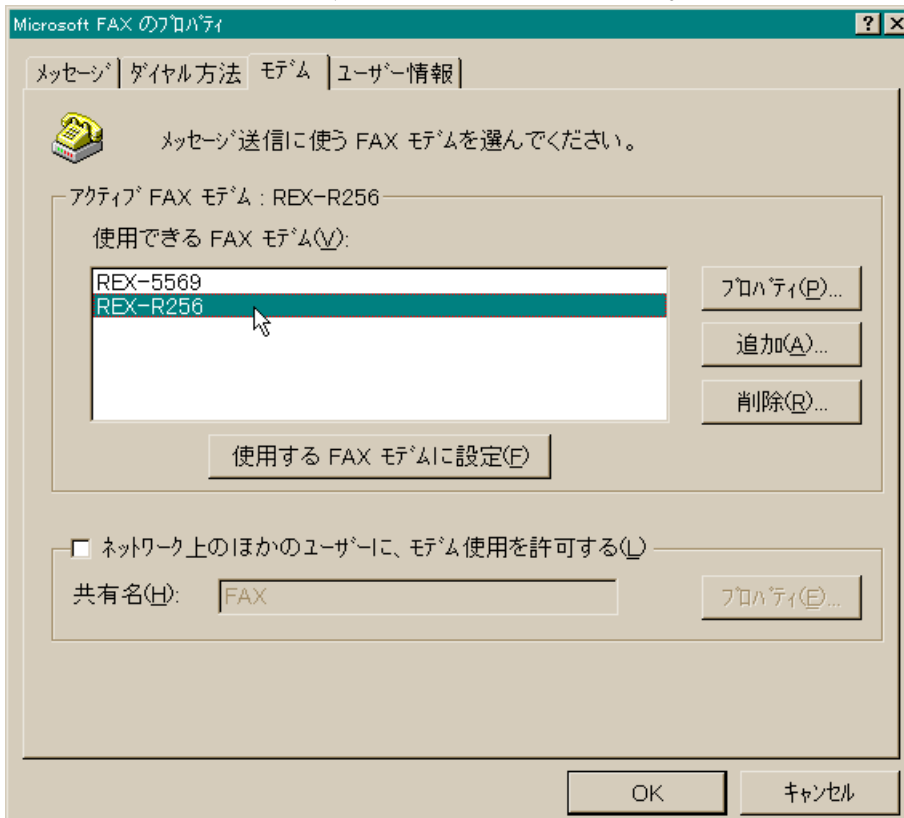
### Microsoft Fax を使用する

FAX の使用例を示します。

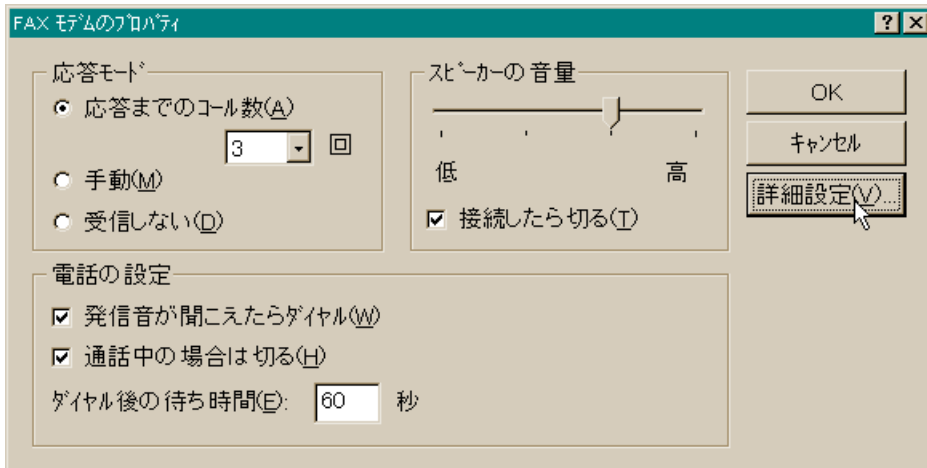
1. ソフトウェアがインストールされていない場合、コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」からインストールを行います。



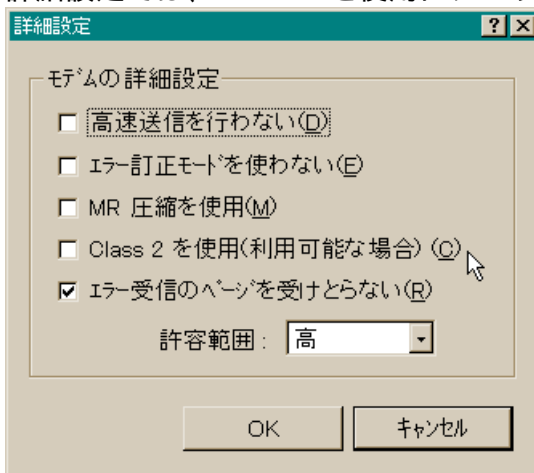
2. FAX のプロパティ画面で、REX-R256 を選択します。



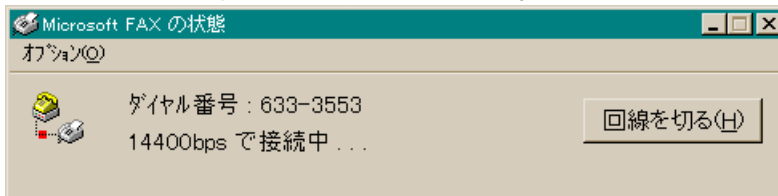
3. FAX モデムのプロパティの詳細を設定します。



4. 詳細設定では、Class 2 を使用にチェックしないでください。



5. 接続開始すると、次のようになります。



### TAPI に対応していない通信ソフトを使用する

Windows 95 および Windows NT4.0 で使用する通信ソフトは、TAPI に対応した通信ソフトウェアを使用することが望めます。TAPI に対応していると、通信の設定項目で「REX-R256」と直接選択ができ、通信上の設定は OS レベルで共有して行えます。

ここでは、TAPI に対応していない通信ソフトを使用する方法を説明します。

1. モデムのプロパティにて REX-R256 が、COM1 ~ COM4 のどこに割り当たっているかを調べます。
2. 通信ソフトウェアから使用する通信ポートの設定を、上記の COMn に設定します。
3. 初期化コマンドの入力覧に「AT&FE0V1&D2&C1W2S95=47S0=0」を設定します。  
以降通信ソフトウェアの設定を行ってください。

### 3. Windows NT 4.0 でセットアップ

ここでは、Windows NT4.0 上で REX-R256 を使用する場合の手順を示します。

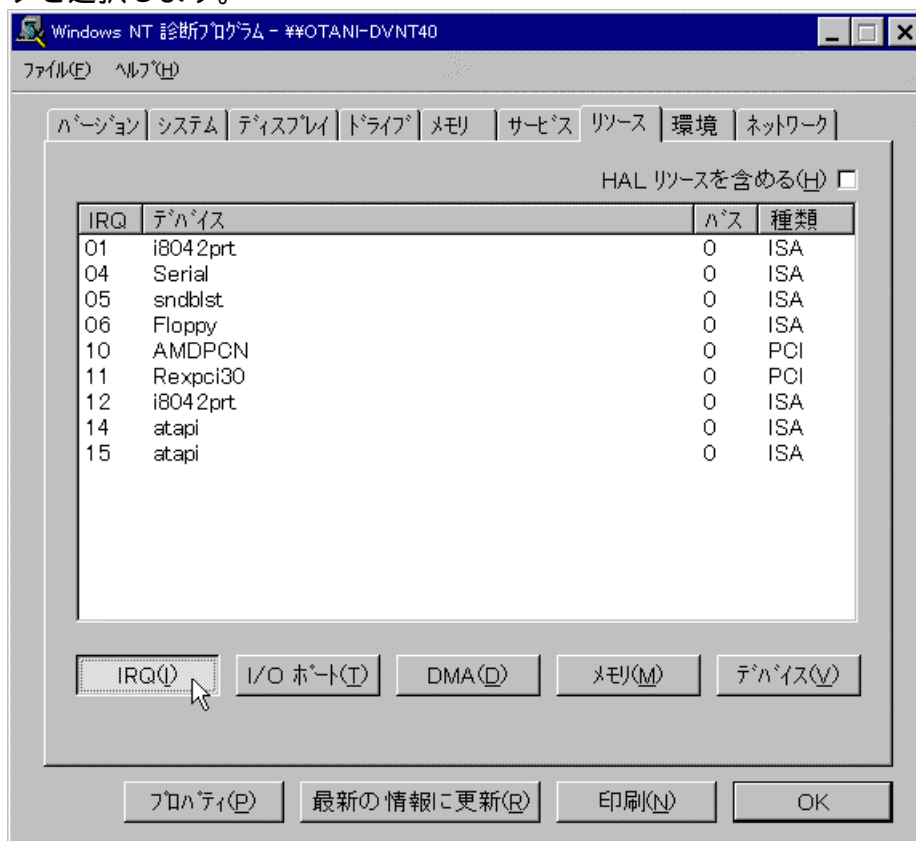
一度パソコンが認識を行うと、以降は PC カードを挿すだけですぐに使用できます。

Windows NT3.51 でのサポートは行われておりません。

#### セットアップを行う前に

Windows NT の資源をチェックします。

[プログラム] の [管理ツール] の [Windows NT 診断プログラム] を開いて [リソース] の タグを選択します。



この画面は、IRQ 04 に REX-R256 が COM1 で割り当たっている例です。

よって、04 Serial が表示されていない状態が好ましい状態です。

03 Serial, 04 Serial とすでに表示されている場合、パソコン本体の COM1, COM2 が使用していることとなります。利用していないのであれば、COM1, COM2 を無効 Disable にすることをお勧めします。Disable にする方法はパソコンのマニュアルを参照してください。

COM1 で使用する場合、IRQ 04 I/O アドレス 03F8 で使用することをお勧めします。

COM2 の場合 IRQ 03 I/O アドレス 03E8

COM3 の場合 IRQ 04 I/O アドレス 02F8

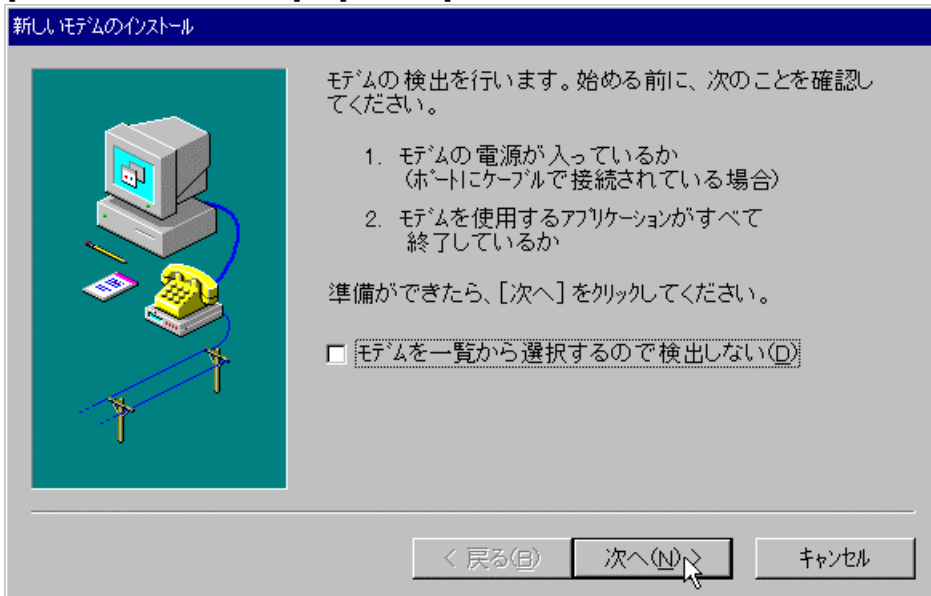
COM4 の場合 IRQ 03 I/O アドレス 02E8

で使用することをお勧めします。



### セットアップを行う

1. パソコンに REX-R256 を装着してパソコンを起動します。
2. [コントロールパネル]の[モデム]アイコンをダブルクリックします。

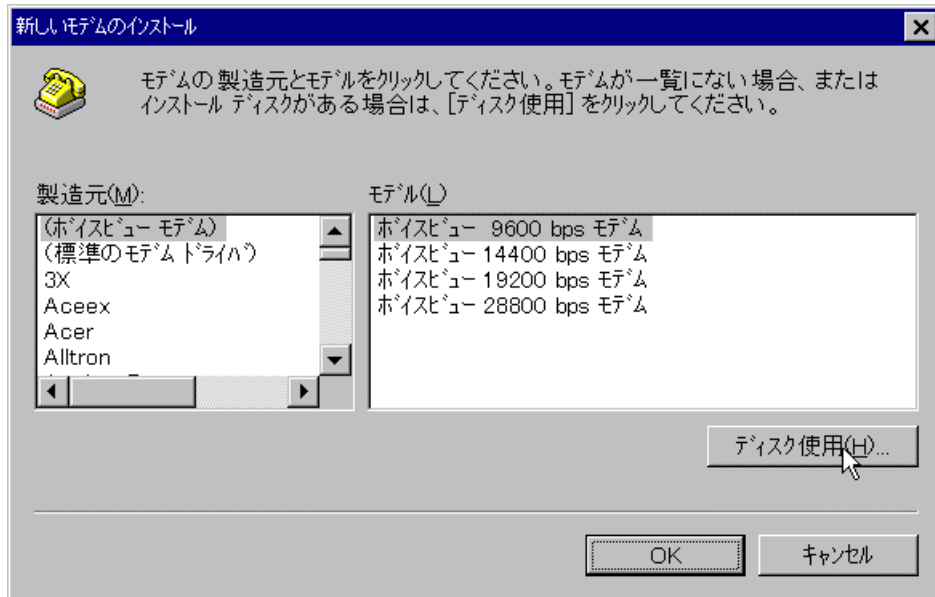


「次へ」を押してください。

3. しばらくすると以下の画面が表示され「標準モデム」として検出されますので「変更」ボタンをクリックします。標準モデムではありません。

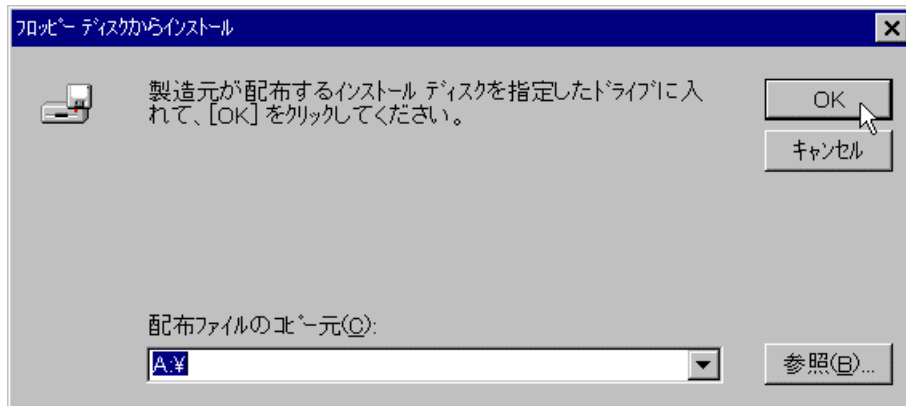


4. モデムの選択画面が表示されます。



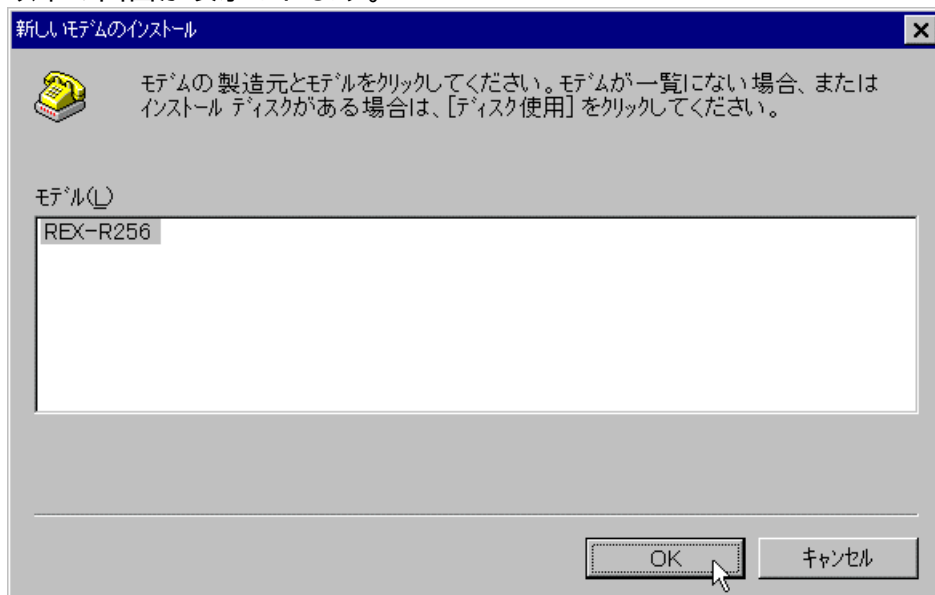
「ディスク使用」を選択してください。

5. Windows 95/NT 用モデム情報ファイル (FD) をセットします。PC-9800 シリーズの場合フロッピーディスクのドライブ名は異なります。「配布ファイルのコピー元」を実際フロッピーディスクのドライブ名と一致するように指定します。



[OK] を選択します。

6. 以下の画面が表示されます。



### 第3章 Windows NT4.0 でのセットアップ

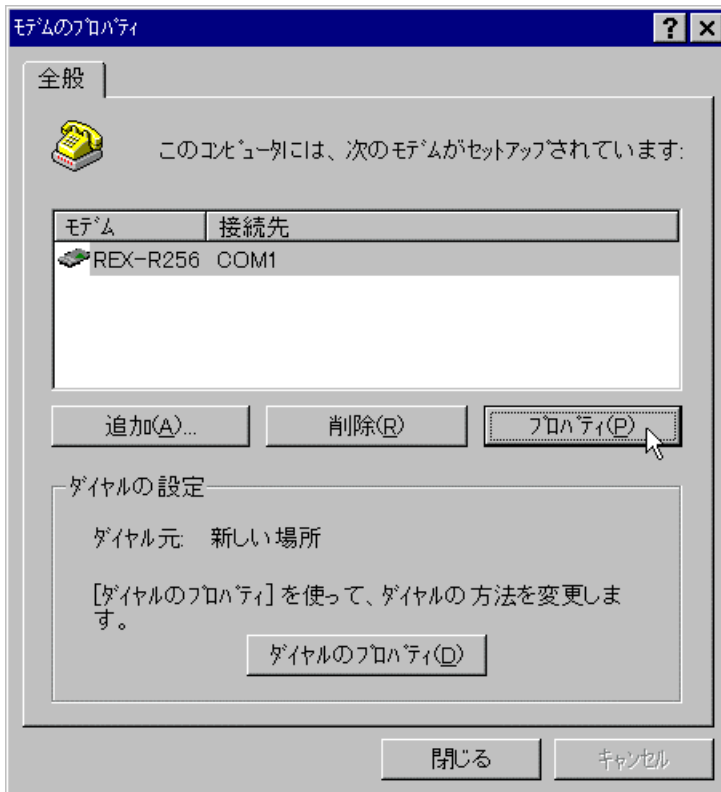
7. COM n (1~4) 上に選択されたモデムに「REX-R256」と表示されることを確認し [OK] を押してください。



8. INF ファイルの読み込みが終了すると、完了画面が表示されます。



9. モデムのプロパティをチェックします。  
コントロールパネルの「モデム」アイコンをダブルクリックします。



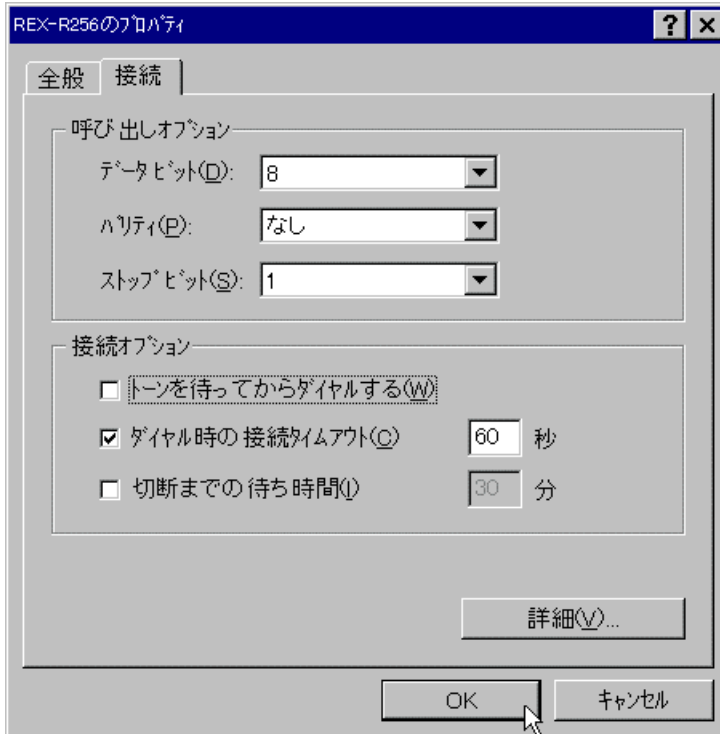
このように登録されていることを、確認してください。

10. 「プロパティ」をクリックします。



音量の設定ができますが、REX-R256 では、音量差はほとんどありません。  
最高速度の設定を行ってください。

### 11. 接続のタグを選択します。



構内回線を使用している場合は、「トーンを待ってからダイヤルする」のチェックを外してください。

### 12. 9. の画面で「ダイヤルのプロパティ」を選択します。



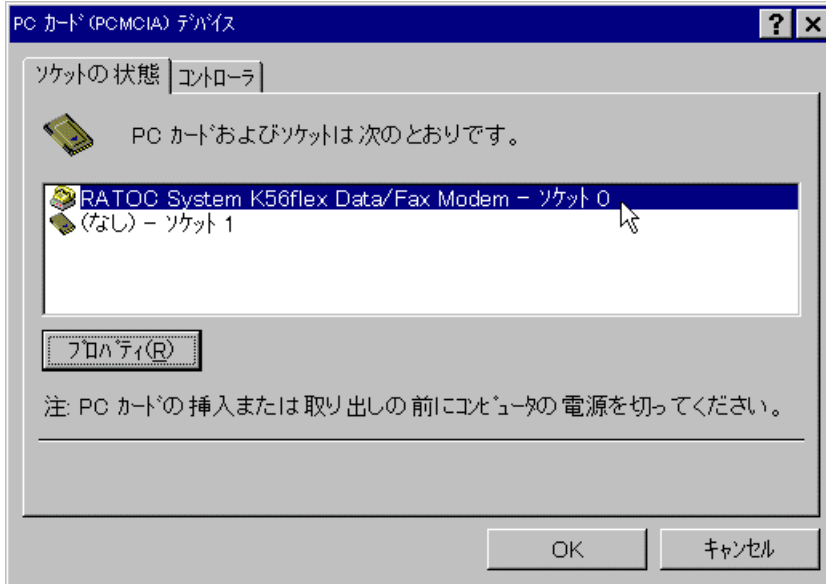
外線発信番号等必要であれば、設定してください。外線発信番号が0の場合、「0,」と入力します。

セットアップの確認を行う

1. コントロールパネルより「PC カード」のアイコンをダブルクリックします。

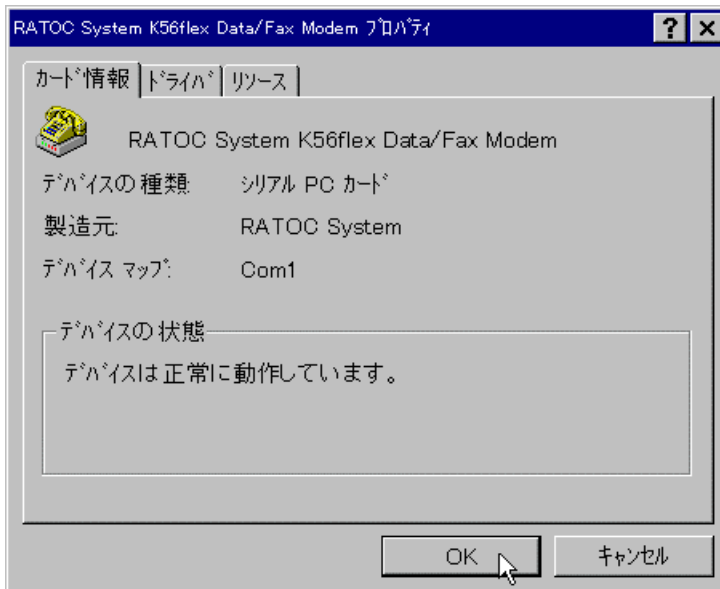


2. RATOC System K56flex の文字を選択します。



プロパティを選択します。

3. 「デバイスが正常に動作しています」と表示されていることを確認します。



4. 「ドライバ」のタグを選択します。



ドライバ名は、Serial.sys を使用されていることを確認します。

5. 「リソース」のタグを選択します。



割り込み要求 (IRQ) と I/O 範囲 (I/O アドレス) を確認します。

以上でセットアップの確認は終わりです。

### 接続確認および FAX 機能

接続の確認方法については、ハイパーターミナルを使用して AT コマンドを入力してください。方法については、2 章の Windows 95 でのセットアップの「接続してみましよう」、「回線性能を確認する」を行ってください。

FAX 機能については、Windows NT4.0 に標準搭載している FAX ソフトはありません。ここでは、Easy Fax PRO 32 の接続設定の方法を示します。

EasyFaxPR032 でモデムを設定する場合、以下の点に注意してください。

モデムの選択： 「REX-R256」は一覧リストに登録されていません。  
「標準の Class1 (14400bps) 対応 FAX」を選択してください。

ポートの選択： 「REX-R256」を選択してください。



空白ページ

## 4. OS/2 Warp4 でのセットアップ

ここでは、OS/2 Warp4 上で REX-R256 を使用する場合の手順を示します。

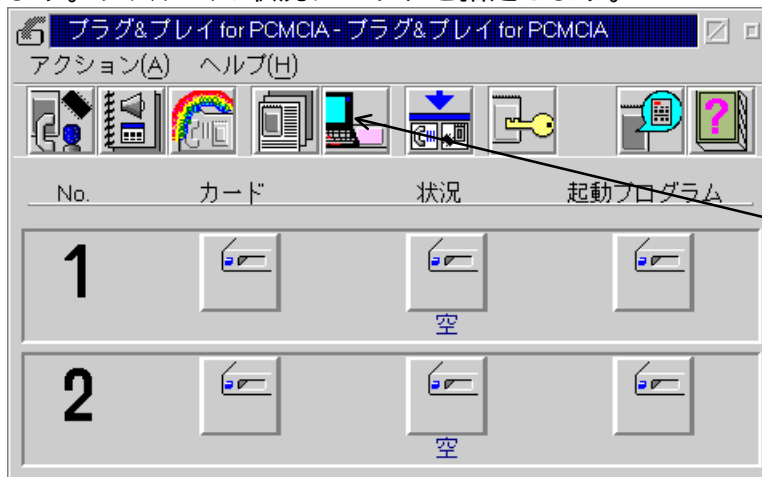
一度パソコンが認識を行うと、以降は PC カードを挿すだけですぐに使用できます。

OS/2 Warp3 でのサポートは行われておりません。

### セットアップを行う前に

OS/2 Warp4 のシステム環境 (PCMCIA) をチェックします。まず IRQ の残り数をチェックします。

1. [OS/2 システム] [システム設定] [プラグ&プレイ for PCMCIA] を実行します。システムの状況チェックを指定します。



! 7 r K 7

2. IRQ の空きの一覧が表示されます。



メモリは 1 個所に  
連続している必要  
があります

もし空きが 1 つもない場合 PC カードを使用できません。

この例では、3,4,7,9,10,11,14 が空いてます。

## コンフィグレーションを行う

1. [ OS/2 システム ] [ システム設定 ] [ プラグ & プレイ for PCMCIA ] [ AUTOUTL.EXE ] を実行します。

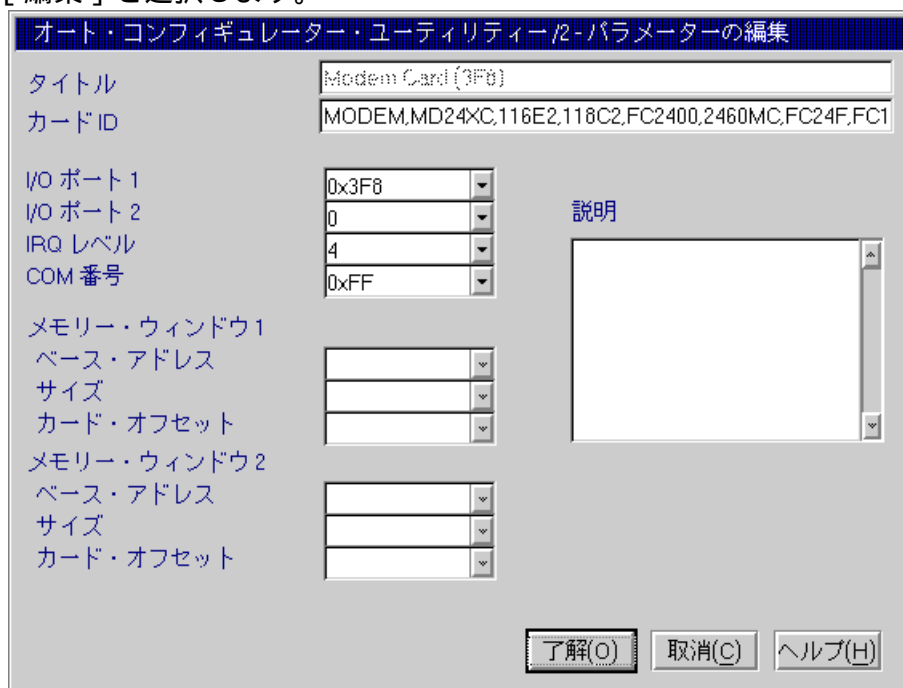
COM1 として使用する場合、 Modem Card(03F8)を選択して、 [ 追加 ] を押します。



2. Modem Card(03F8)を編集して以下の表の定義を変更することもできます。

使用可能カード名	COM 番号	I/O ポート
Modem Card (3F8)	COM1	03F8
Modem Card (2F8)	COM2	02F8
Modem Card (3E8)	COM3	03E8
Modem Card (2E8)	COM4	02E8

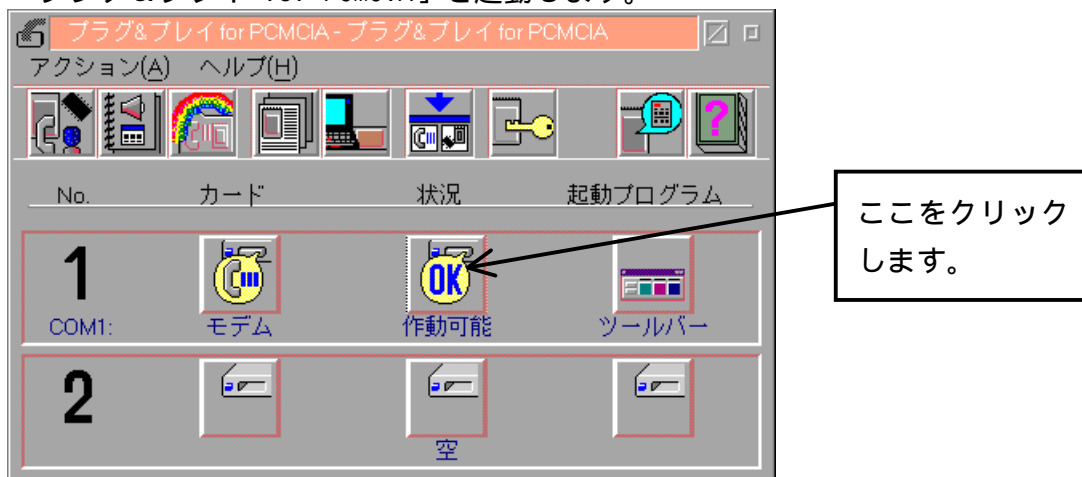
[ 編集 ] を選択します。



3. 設定終了後、画面の指示に従ってシステム再起動してください。

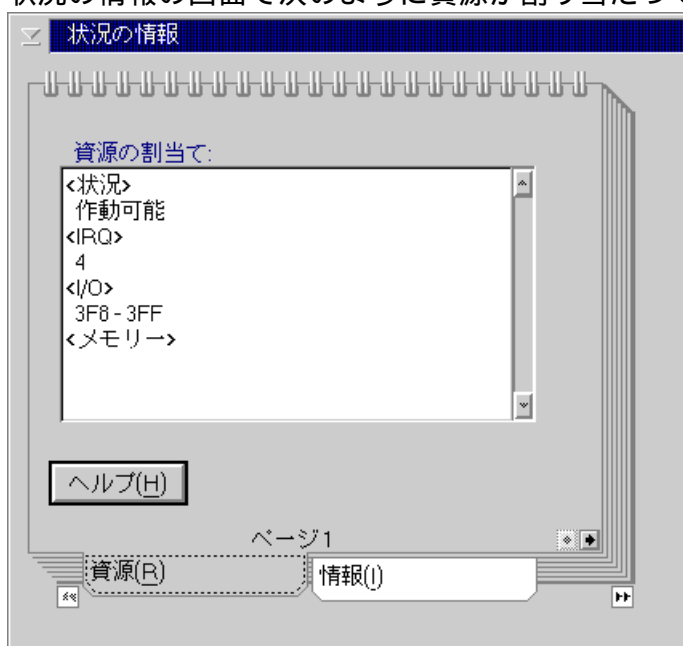
### コンフィグレーションの確認

1. パソコンが起動したら、REX-R256 を PC カードスロットに装着します。
2. 「プラグ&プレイ for PCMCIA」を起動します。



「OK」と書かれたアイコンをクリックします。

3. 状況の情報の画面で次のように資源が割り当たっているかを確認します。



資源が問題なく割り当たっていれば、REX-R256 のセットアップは完了です。

### HyperACCESSLite for OS/2 で接続しましょう

1. OS/2 Warp4 標準添付のターミナル通信ソフト「HyperACCESSLite for OS/2」での設定方法について説明します。なおこの説明では、HyperACCESSLite for OS/2 のインストール方法、起動方法については省略します。OS/2 Warp ユーザーズマニュアルを参照ください。

[通信の設定]でモデムの種類を「ユーザー定義(高速)」を選択し「モデムの設定」をクリックします。

通信の設定

電話番号(P): xx-xxxx-xxxx

設定(データパリティ-ストップ)(S) 自動検出

ボー・レート(B): 57600 カスタム設定(T)...

ポート名(N): COM1 ポートの設定(R)...

モデム(M): ユーザー定義(高速) モデムの設定(O)...

了解(O) 取消 ヘルプ

2. 「追加モデム設定コマンド」に「¥J0¥N3W0X3」を記述します。

モデムの設定

追加モデム設定コマンド(E): ¥J0¥N3W0X3

ダイヤル

パルス(ダイヤル回線)(P)  トーン(プッシュ回線)(T)

キャリアー待ち時間(W) 60 秒

再試行回数(N): 20

再試行間隔(R): 1 秒

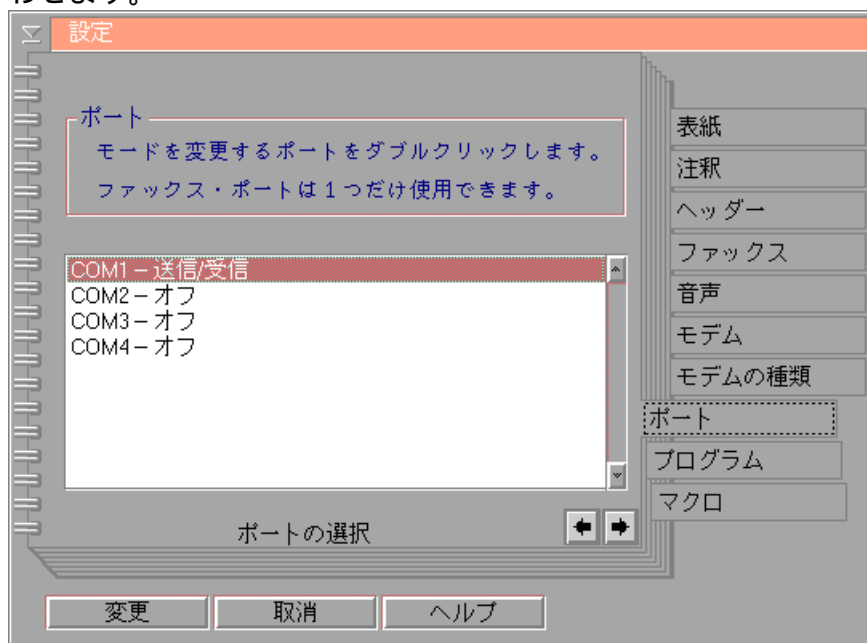
了解(O) 取消 ヘルプ

設定が完了したら、「了解」をクリックします。

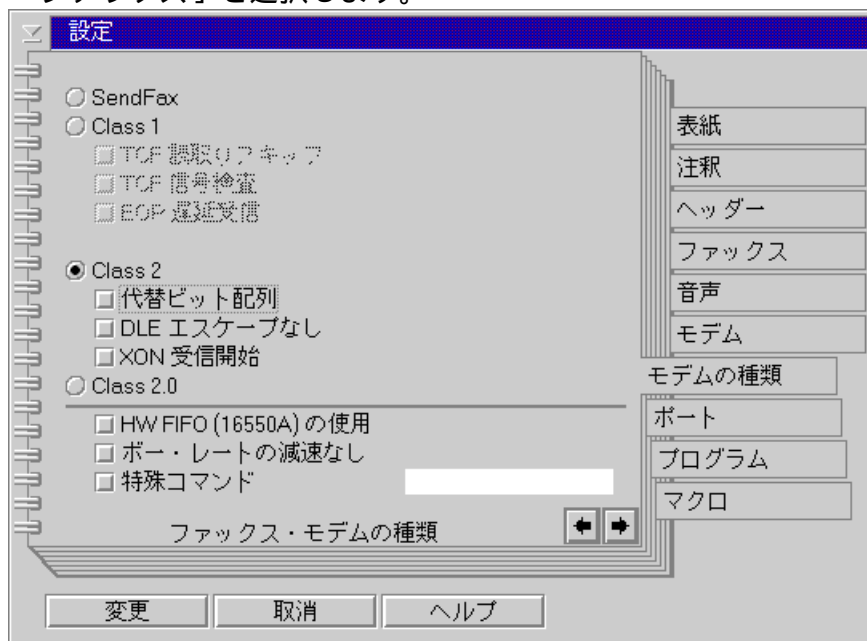
FAX Works for OS/2 で FAX を使う

OS/2 Warp4 標準添付のターミナル通信ソフト「FAX Works for OS/2」での設定方法について説明します。なおこの説明では、FAX Works for OS/2 のインストール方法、起動方法については省略します。OS/2 Warp ユーザーズマニュアルを参照ください。

1. 「ユーティリティ」タグ内の「設定」で「ポート」をこれから使用するポートに合わせてます。



2. 「ファックス」を選択します。



REX-R256 は、「Class 1」を選択します。「Class 2」では使用できません。

### 3. 「モデムの種類」を選択します。

入力項目の修正

モデム・タイプ: Hayes Compatible

通信ポート: com1

速度(ボー): 57600

データ・ビット: 8

モード

ダイヤル

応答

パリティ: NONE

コマンド: ATDT

初期設定ストリング1: ¥J0¥N3W0X3

初期設定ストリング2:

呼出し待機

使用不可

シーケンス不可: ^70

ヘルプ(H)

ページ4の4

ログイン情報(L)

接続情報(C)

サーバー情報(S)

モデム情報(M)

初期設定ストリングに「¥J0¥N3W0X3」を記述します。  
以上で設定は完了です。

## 5. Mac OS 8 でのセットアップ

ここでは、MacintoshのMac OS 8上でREX-R256を使用する場合の手順を示します。  
一度パソコンが認識を行うと、以降はPCカードを挿すだけですぐに使用できます。

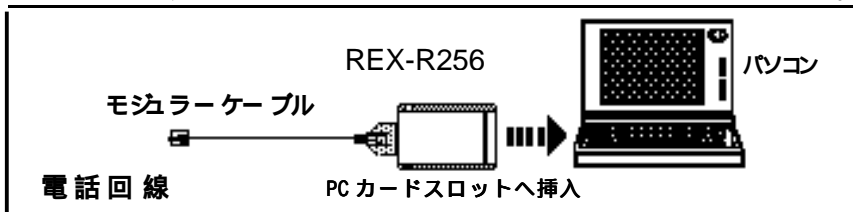
### CCL セットアップを行う

CCL ファイルのインストールを行います。  
添付の Macintosh 用 ARA / PPP CCL ファイル (FD) より以下のファイルを、システム機能拡張の Modem Scripts フォルダにコピーします。

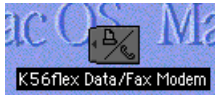


### REX-R256 を認識させる

REX-R256 は、PC カードスロットに挿入するだけで認識します。



挿入すると、デスクトップに以下のアイコンが表示されます。



確認してください。

カードを取り出すときは、このアイコンをごみ箱にドラッグアンドドロップしてください。REX-R256 が排出されます。

このアイコンをダブルクリックします。



上段 / 下段 PC カードスロットと

経由先 : が K56flex Data/Fax . . . となっていることを確認します。

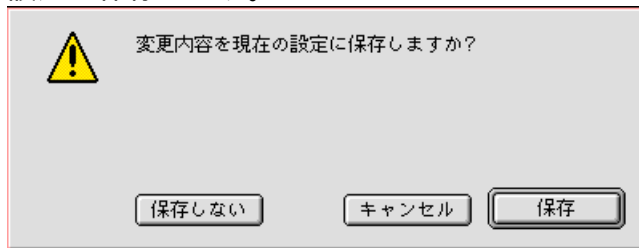
モデム : を RATOX REX-R256 に設定します。選択できない場合、前述の CCL ファイルのコピーが行われていません。

構内回線から発信する場合、ダイヤルトーンを無視にチェックします。



## 第 5 章 Mac OS 8 でのセットアップ

設定を保存します。

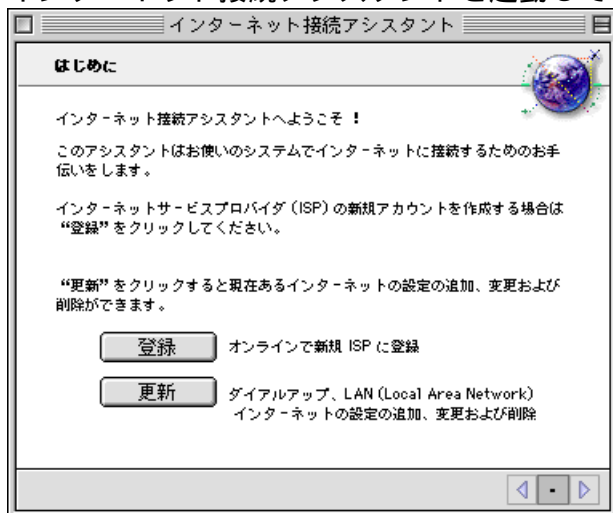


保存を選択します。

### 簡単インターネット接続を行う

Mac OS 8 では、インターネット接続を OS レベルで管理しています。

インターネット接続アシスタントを起動してください。



説明に従って、応答していきます。

モデムの設定では、RATOC REX-R256 を選択してください。



右矢印を押してください。

詳細を表示で、次のように表示されます。



設定するを選択して、続けて接続を行ってください。接続確認のためにもぜひ接続してみてください。

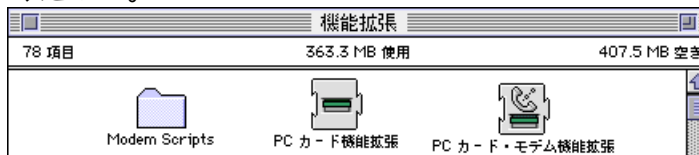
空白ページ

### 6. Mac OS 7.6.x 7.5.x でのセットアップ

ここでは、MacintoshのMac OS 上でREX-R256を使用する場合の手順を示します。  
一度パソコンが認識を行うと、以降はPCカードを挿すだけですぐに使用できます。

#### セットアップを行う前に

Macintosh にて REX-R256 を使用するには、次のソフトウェアがインストールされている必要があります。通常、出荷時のシステム構成では、インストール済みです。システムフォルダ内の機能拡張フォルダに次の2つのアイコンがあることを確認してください。



#### REX-R256 を認識させる

REX-R256 は、PC カードスロットに挿入するだけで認識します。

挿入すると、デスクトップに以下のアイコンが表示されます。



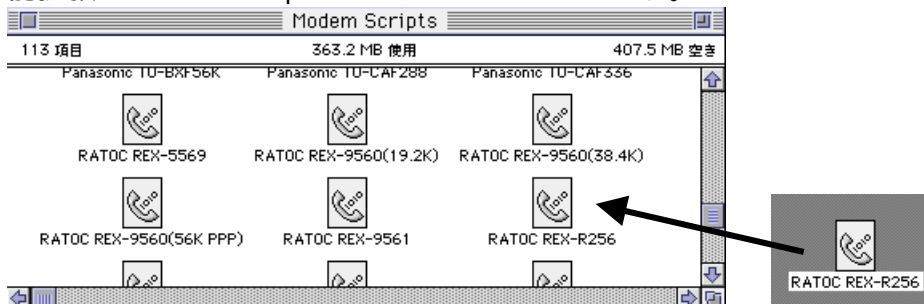
確認してください。

カードを取り出すときは、このアイコンをごみ箱にドラッグアンドドロップしてください。REX-R256 が排出されます。

#### CCL セットアップを行う

CCL ファイルのインストールを行います。

添付の Macintosh 用 ARA / PPP CCL ファイル (FD) より以下のファイルを、システム機能拡張の Modem Scripts フォルダにコピーします。



### アップルリモートアクセスの設定

リモートアクセスの画面にて REX-R256 を選択し、環境を保存します。



設定を保存してください。

## 7. AT コマンド ( 抜粋 )

AT コマンドは米国 Hayes 社が開発したモデム制御コマンドです。  
REX-R256 への制御は、この AT コマンドによって行います。

このマニュアルでは、AT コマンド・S レジスタ・リザルトコードを記載しておりません。これは、通常使用する上で使用することがないためです。

ここでは、一部必要の可能性のある AT コマンドを載せてあります。

もし、必要な場合 AT コマンド・S レジスタ・リザルトコード一覧表をマニュアルの形式で PDF ファイルにして用意しておりますので、ダウンロードして参照願います。

コマンド	値	コマンド解説	初期値
ATA		着信を行います	なし
ATD	T/P	ダイヤルコマンド	なし
ATH	0	切断します	0
	1	通話を終了します	
ATI	0	製品プロダクトコード表示	なし
	1	製品識別番号	
	2	ROM チェックを行う OK or ERROR 表示	
	3	ROM のファームウェアバージョン表示	
	4	ファームウェア更新日付	
ATL	0	スピーカ音量 微小	3
	1-3	音量調整 (あまり変化しません)	
ATW	0	相手モデム接続時のリザルトコードを DTE のみ表示	0
	1	相手モデム接続時のリザルトコードすべて表示	
	2	相手モデム接続時のリザルトコードを DCE のみ表示	
ATX	0	速度表示なし、発信時の BUSY、ダイヤルトーン検出あり	4
	1	速度表示あり、発信時の BUSY、ダイヤルトーン検出なし	
	2	速度表示あり、発信時のダイヤルトーン検出のみあり	
	3	速度表示あり、発信時の BUSY トーン検出のみあり	
AT+MS=	56	DCE 速度を 56000bps からネゴシエーションします。	56
	11	DCE 速度を 336000bps からネゴシエーションします。	
	10	DCE 速度を 14400bps からネゴシエーションします。	
	9	DCE 速度を 9600bps からネゴシエーションします。	
	2	DCE 速度を 2400bps からネゴシエーションします。	

空白ページ

## 8. 仕様について

この章では、REX-R256 の仕様に関する説明を行います。

### REX-R256 Modem 側インターフェース仕様

項目	内容
通信回線	一般公衆回線
通信モード	非同期
通信規格	データ通信：K56flex, ITU-T V.34+, V.34, V.32bis, V.32, V.22bis, V.22, V.21 Bell 212A, 103 ファックス通信：ITU-T V.29, V.27ter, V.21ch2, V.17
通信速度 (DCE速度)	データ通信：ダウンロード時： 56000/54000/52000/50000/48000/46000/44000/42000/40000/38000/36000/34000 ダウンロード/アップロード時： 33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/14400/12000/9600/7200/4800/2400/1200/300bps ファックス通信：14400/12000/9600/7200/4800/2400bps
エラー訂正	MNP4 / ITU-T V.42, MNP10
データ圧縮	MNP5 / ITU-T V.42bis

### REX-R256 端末側インターフェース仕様

項目	内容
DTEインターフェース	PC Card Standard 準拠
通信コマンド	データ通信：Hayes ATコマンド準拠 ファックス通信：EIA-578 CLASS1
フロー制御	ハードウェア (RS/CS)、ソフトウェア (XON/XOFF)
DTE通信速度	1200/2400/4800/9600/19200/38400/57600/115200bps



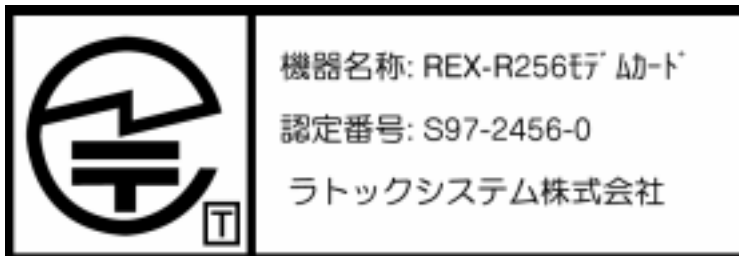
## 第 8 章 仕様について

### REX-R256 環境仕様

項目	内容
外形寸法	54mm (W) × 85.6mm (D) × 5mm (H) (Type II)
重量	32g
消費電力・電源電圧	1250mW (標準)、210mW (スリープ) ・ +5V (PC カードスロットより供給)
周囲温度	0 ~ 55
相対湿度	20% ~ 95%

結露しないこと

本製品は、電気通信端末機器審査会 (JATE) の基準適合認定を受けています。



## 9. トラブルシューティング

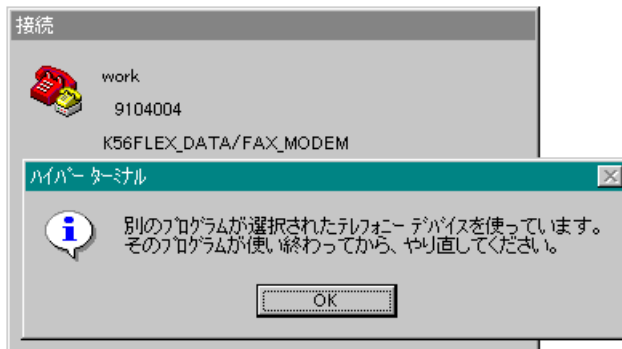
## REX-R256 と認識されず K56FLEX\_DATA/FAX... と表示の場合

Q:

デバイスマネージャの画面で、モデムの中に「REX-R256」と表示されるべきところ「K56FLEX\_DATA/FAX\_MODEM」と表示される。



また、ハイパーターミナルから発信しようとするすると以下の画面のようになる。



A:

デバイスマネージャ画面の K56FLEX\_DATA/FAX\_MODEM を選択し、削除キーを押します。また、Windows ディレクトリの INF ディレクトリの SRAT86FC.INF ファイルを探し削除します。システム再起動で、「新しいハードウェアの検出」の画面が現れ、通常のインストールを行うことにより、モデムの中に「REX-R256」と表示されるようになります。

### 標準の PCMCIA カードモデムをインストールした場合

Q:

デバイスマネージャの画面で、モデムの中に「REX-R256」と表示されるべきところ「標準の PCMCIA カードモデム」と表示される。

A:

デバイスマネージャ画面の「標準の PCMCIA カードモデム」を選択し、削除キーを押します。REGEDIT を起動しカード情報を削除します。詳しくは、Windows 95 のセットアップの章のセットアップに失敗した場合を参照してください。

### 発信音等が聞こえない場合

Q:

ダイヤル発信音や、ネゴシエーション音が聞こえません。

A:

パソコン本体の設定によっては、PC カードモデムの発信音がパソコン本体のスピーカから一切出力されない場合があります。パソコン本体のメーカーに、ご確認ください。

### デスクトップにモデムのアイコンが表示されない場合

Q:

Mac OS において REX-R256 を装着してもデスクトップにアイコンが表示されません。

A:

システムフォルダの機能拡張フォルダに「PC カード機能拡張」、「PC カードモデム機能拡張」が登録されているか、確認してください。

### 56000bps で接続できない場合

Q:

キャリア速度が 56000bps と表示されません。44000bps と表示されます。

A:

通常のアナログ一般回線ですと、1998 年現在 44000bps と表示されるのが平均値です。大きな電話局の近くになると品質が良くなります。

ISDN TA のアナログ端子からは、50000bps 位の接続が可能です。

今後、通信環境の向上により速い速度で接続されていきます。

### Mac OS にて PHS、アナログ携帯電話で接続できない場合

Q:

PHS、アナログ携帯電話で接続しますがすぐ切れてしまいます。

A:

[REX-R256 CCL]を選択して実行すると、DCE 速度 56000bps でネゴシエーションされます。DCE 速度 9600bps でネゴシエーションされる CCL ファイル[REX-R256 CCL 9600 ]を選択してください。

なお、添付ディスクにない場合、インターネット(<http://www.rexpccard.co.jp>)よりダウンロードしてください。

REX-R256 質問用紙 (拡大コピーの上ご記入ください)

下記ユーザ情報をご記入願います。

法人登録の方のみ	会社名・学校名			
	所属・部署			
氏名				
住所	〒			
TEL			FAX	
製品型番	REX-R256	シリアル番号		
販売店名			購入年月日	

下記パソコン環境情報をご記入願います。

パソコン機種名			
使用 OS	Windows 95	Windows 95B(OSR2)	Windows NT4.0
	OS/2 Warp4	Mac OS 8	Mac OS 7.6

質問内容：

添付資料：インストール等に関するご質問の場合は、下記データが必要です。送付して頂いたデータをチェックしてください。

CONFIG.SYS            AUTOEXEC.BAT            SYSTEM.INI

デバイスマネージャのシステム概要 <sup>1</sup>            WindowsNT 診断プログラムのレポート <sup>2</sup>

1 デバイスマネージャのシステム概要 (Windows 95 のみ)

- (1) デバイスマネージャから[印刷(N)...]ボタンを押します。
- (2) レポートの種類に「すべてのデバイスとシステムの概要」を選択して [OK] ボタンを押します。

2 Windows NT 診断プログラムのレポート (Windows NT のみ)

- (1) Windows NT 診断プログラムを起動し [ファイル] メニューから[レポートの印刷(N)...]ボタンを押します。
- (2) ドライバ, ドライブ, デバイス, IRQ/ポート, DMA/メモリ をチェック選択して [OK] ボタンを押します。